支える心とおもいやり

令和元年度版

社会福祉法人

兵庫県社会福祉事業団

兵庫県社会福祉事業団のあらまし

性　格	社会福祉施設を効率的、効果的に管理運営するために設立された社会福祉法人です。
目　的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援するとともに、兵庫県及び兵庫県内各市町との密接な連携の下、広く県民福祉の向上と増進に寄与することを目的としています。
設　立	昭和39年7月1日
事業内容	県下63か所で93施設を運営しています。（平成31年4月1日 現在）

シンボルマーク

ひょうごの「ひ」を図案化したもので大空に羽ばたく鳩の姿と円を基調に描き、事業団の活躍と発展を表しています。

■ 概　要
目次・事業団のあらまし、シンボルマーク説明 ・ 1
中期経営方針「事業団の決意」・・・・・・・・ 2
令和元年度事業計画 ・・・・・・・・・・・・・・ 3
事業団運営施設一覧 ・・・・・・・・・・・・・・ 7
令和元年度当初予算 ・・・・・・・・・・・・・・ 9
組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
職員現員表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
■ 総合リハビリテーションセンター
総合リハビリテーションセンター・・・・・・・ 12
中央病院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
福祉のまちづくり研究所・・・・・・・・・・ 15
職業能力開発施設・・・・・・・・・・・・・・ 17
あけぼのの家 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
自立生活訓練センター ・・・・・・・・・・・ 19
おおぞらのいえ・・・・・・・・・・・・・・・ 20
障害者スポーツ交流館 ・・・・・・・・・・・ 21
のぞみの家・医務室（診療所）・・・・・・・ 22
万寿の家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
地域ケア・リハビリテーション支援センター・・ 24
■ 西播磨総合リハビリテーションセンター
西播磨総合リハビリテーションセンター・・・ 25
西播磨病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
研修交流センター・・・・・・・・・・・・・・ 28
ふれあいスポーツ交流館・・・・・・・・・・ 29
■ 障害児者施設
児童福祉サービス等・障害福祉サービス等（説明）・・ 30
小野起生園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
小野福祉工場・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
出石精和園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
五色精光園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
赤穂精華園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
丹南精明園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
三木精愛園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
ひまわりの森・笑顔の森むらおか ・・・・・・ 41
■ 児童施設
清水が丘学園・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
こども発達支援センター ・・・・・・・・・・・ 43
■ 高齢者施設
高齢福祉サービス等（説明）・・・・・・・・・・ 44
朝陽ケ丘荘 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
たじま荘 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
ことぶき苑 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
あわじ荘 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
丹寿荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
くにうみの里・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
洲本市五色健康福祉総合センター ・・・・・・ 51
■ その他施設
立雲の郷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
浜坂温泉保養荘・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

将来を見据えた今後５年間の中期経営方針

～「事業団の決意」～

（取組期間：2019年度～2023年度）

これから私たちがめざす姿

私たちは、①人々の高齢化に対応していくこと、②人々の孤立化に対応していくこと、そして③地域の元気が低下しないように取り組んでいくことが必要と考えます。
そこで、①多くの「パートナー」と地域の元気を支える取組を展開すること、②地域共生社会を先導する新たな拠点づくりに挑戦すること、③地域の幅広い人々の安全・安心につながる多様なサービスを提供すること、④人材の確保・育成等を通じた堅実な運営を継続することをめざし、活動を展開します。

私たちが展開する「４つの柱」

1 地域の元気を支える取組の展開

私たちの「パートナー」である地元の自治体、団体、企業、ボランティアの皆さんと連携して、施設を地域社会の一員として、そして、地域の安全・安心拠点として運営します

【主な取組内容】

○事業団が事業展開する地域の実情・ニーズを踏まえ、「寺子屋プロジェクト」「コミュニティカフェ」「ギャラリー」等の地域交流を展開し、多世代交流ができるコミュニティを形成します
○地元自治会や小学校PTA 等と連携して高齢施設等に「共生食堂」を開設し、子どもから一人暮らしの中高年、お年寄りが地域との関係性を維持できるようサポートします
○多様なニーズに応えるため、介護保険外サービスも柔軟に展開します

2 新たな挑戦

時代のニーズを見据え、高度な専門性を発揮しながら、新たな課題や分野に積極的に挑戦します

【主な取組内容】

○「総合リハビリテーションセンター」において、リハビリテーションの県域拠点としての役割を充実・強化するとともに、健康寿命の延伸プログラムの展開やオープンカフェなどの新たな取組を行い、地域の「元気・長寿・安心」拠点の形成をめざします
○子どもから高齢者・障害者、地域住民との交流を実現する「くにうみヴィレッジ」を開設し、地域の安全・安心拠点をめざします
○新「万寿の家」は、県下特養のトップランナーとしてロボット機器の導入及びこれに伴う介護技術を先導・発信するとともに、地域の安心拠点としてユニバーサルな施設づくりをめざします

3 多様なサービスの充実と展開

施設の利用者はもとより、地域の幅広い住民を利用者と捉え、利用者を元気にする活動を展開します

【主な取組内容】

○住み慣れた地域や在宅でその人らしく最期まで過ごせるよう地域ニーズに即した「ラウンド・ケア・サービス」（「定期巡回随時対応型訪問介護看護」）を展開します
○障害者の高齢・重度化に対応したグループホームを創設し、いつまでも地域・施設生活が継続できるよう取り組みます
○利用者の高齢・重度化に対応するために、「ノーリフティングケア」「口腔ケア」「看取りケア」等の利用者支援を充実します

4 堅実な運営の継続

法人経営の永続的展開をめざし、事業活動の点検と強化に努めるなかで、将来に向けた人材の確保・育成と拠点施設の再構築に取り組みます

【主な取組内容】

○誰もが働きやすい職場環境を実現し、多様な確保対策を講じ、専門人材の確保・育成をめざします
○老朽化が進む施設の建替や大規模改修を計画的に実施します
○「中期経営方針」に基づいた効果的・効率的な法人運営を推進します

令和元年度事業計画

Ⅰ 地域の元気を支える取組の展開

1．高齢者や障害者が持つ様々な特技等を発揮してもらえる場としての「寺子屋プロジェクト」を実施します

取組内容

◯ペーパークラフトやリース作り等の「文化教室」
◯中高校生等やボランティアサークルによる音楽ミニライブ
◯パステルアートやお絵かき等のワークショップ
◯書道教室や生け花教室
◯「いきいき100歳体操」　等


「パステルアート」


「書道教室」

2．常設の「コミュニティカフェ」等、地域の集いの場を提供します

あけぼのの家	◯「あけぼのカフェ」 就労移行利用者による オープンカフェの展開　等





3．入居者や地域の方々が作品展示できるギャラリーを設置します




「くにうみ美術館」（くにうみの里）

4．「共生食堂」を開設します

「共生食堂」＝気軽に立ち寄れ、多世代が交流できる「たまり場」




「moimoi」（三木精愛園）

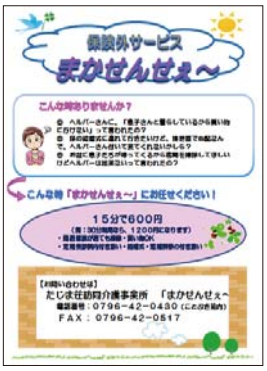

「ほっとファイブ」（五色・サルビアホール）

5．多様なニーズに応えるため、介護保険外サービスも柔軟に展開します

（1）既存の介護保険対象外サービスを継続展開

（2）新たなサービスメニューの実施

新たに実施する介護保険外サービス
□送迎サービス
□買い物サービス
□家具の移動・組み立て
□家電の配線
□電球交換
□洗濯
□話し相手
□安否確認
□同居家族の調理・後片付け



6．「いつでも、どこでも、だれでも」福祉を学べる機会をつくり、幅広い世代に福祉の魅力を発信します

（1）地域の小中高等学校等への「福祉学習」を実施

（2）大学等との継続的な「福祉授業」、サテライトゼミの開催

施設名	連携先大学等
赤穂精華園	関西福祉大学
三木精愛園	関西国際大学



（3）介護技術や認知症等の「地域向け講座」を開催

（4）福祉の魅力発信と体験イベント等の開催

7．総合リハ開設50周年記念式典を開催します

＜開催時期＞令和元年11月15日（金）予定

＜内　　容＞

記念誌「50年のあゆみ」の発行

式典「基調講演」「記念講演」　等

＜第50回盆踊り大会＞

令和元年８月１日（木）予定

「50周年記念特別企画」等



8．魅力ある「浜坂温泉保養荘」の運営をします

（1）地元住民等に継続的にご利用いただける取組の展開

◯定期的な「感謝デー」の実施による魅力発信

◯新聞等マスメディア、ＳＮＳ等活用した計画的な広報を実施

◯浜坂温泉保養荘プロモーション映像の制作

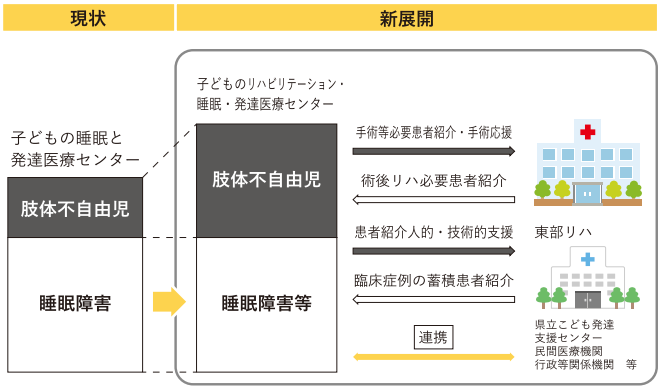

「観音の湯」（露天風呂）

Ⅱ 新たな挑戦

1．令和４年に予定されている「県立ひょうご障害者総合トレーニングセンター（仮称）」の供用開始を見据え、先行的なソフト事業を展開します



2．中央病院の「子どもの睡眠と発達医療センター」を「子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター」に改組し、脳性麻痺等肢体不自由児、睡眠障害等に対し包括的に対応します



3．新「福祉のまちづくり研究所」の構築に向け取り組みます

【新たに展開するもの】

○「介護ロボット開発支援・普及推進センター」の設置

○「ロボットスーツHAL西日本教育センター」の設置

○JQA（日本品質保証機構）と連携した臨床評価の検討調査

等



4．国際義肢装具協会世界大会（ISPO）2019の開催を支援します

【日　　時】

2019年10月５日（土）

～８日（火）

【場　　所】

神戸国際会議場、

神戸国際展示場

神戸ワールド記念ホール

【参加者数】

5,000人（70か国）



5．西播磨リハの機能を強化します

（１）神経難病リハビリテーションセンターの充実

○「目的別入院コース」の設置に向けたＬＳＶＴコースの認定資格者の養成

○「神経難病関連の機器・用具」の展示を充実

（２）地域の介護職員の育成のため、喀痰吸引研修を実施



「視線検出式入力装置」
(miyasuku)

6．新「万寿の家」を移転整備します

（１）介護ロボットの積極的導入と介護技術の先導・発信

（２）ノーリフティングケアの推進

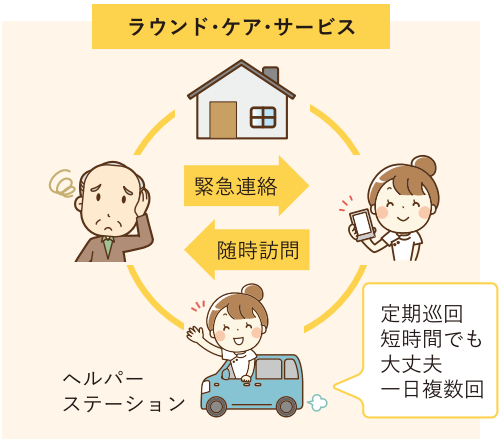
（３）高齢障害者の受入



Ⅲ 多様なサービスの充実と展開

1．地域のニーズに即したラウンド・ケア・サービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業）を展開します

・利用者確保 ・対象エリア拡大	ことぶき苑
	朝陽ケ丘荘
	丹寿荘
令和元年度新規開設予定	洲本市五色健康福祉総合センター



連携事業所（訪問介護・訪問看護）・対象エリアの拡大

施設名	対象地域
ことぶき苑	豊岡市日高町内
朝陽ケ丘荘	旧南光町方面
丹寿荘	丹波市春日町方面

2.障害者の高齢・重度化に対応したグループホームを創設し、いつまでも地域・施設生活が継続できるよう取り組みます
【ひまわりの森、赤穂精華園他】

3.高齢障害者を高齢施設（特養）で積極的に受け入れます

地域 障害施設・GH ⇒ 高齢施設（特養） ⇒ 障害者優先ユニット（くにうみの里）

くにうみの里	平成30年度	令和元年度
高齢障害者の入所者数	6名 ⇒	10名

4.ノーリフティングケアを推進します

研修名	施設名
重点研修	朝陽ケ丘荘、たじま荘、丹寿荘
ノーリフティング宣言	万寿の家、くにうみの里

○高齢・障害施設で「ノーリフティング宣言」
・H30年度にノーリフティングケアモデル施設として認定された万寿の家、くにうみの里で宣言
○圏域毎に「ノーリフティングケア」を推進する「普及推進拠点施設」を設置

普及推進拠点施設	
神戸圏域	万寿の家
淡路圏域	くにうみの里
但馬・丹波圏域	たじま荘



5.口腔ケアの取組を積極的に進め、「利用者の健康増進」「誤嚥性肺炎ゼロ」をめざします

施設種別	モデル施設	内　容
障害施設	五色精光園	・「口腔ケア3技法」の実践 ・「口腔ケアマイスター」の育成
高齢施設	たじま荘	・KTバランスチャートによる評価の実践

6.看取りケアを進めます

目 標	平成30年度	5年後の目標
看取り率	60% ⇒	80%
「看取り対応」説明率	100%を維持	

7.「ひまわりラボ・プロジェクト」を充実します
○骨盤モデルの量産化と筋電義手の着手

	令和元年度目標
骨盤モデル	120
筋電義手	※企業と着手に向けた調整

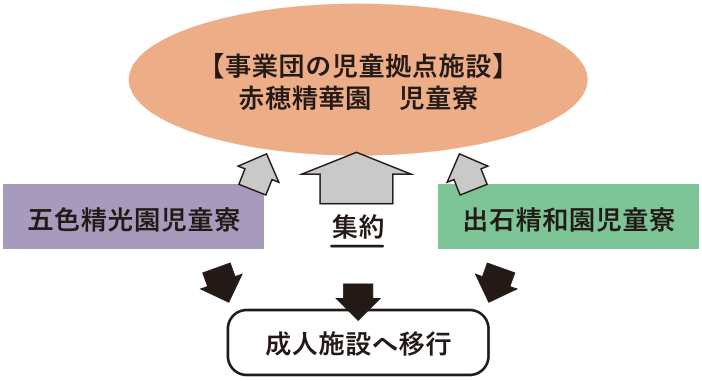

骨盤モデル


筋電義手

8.出石精和園でのB型事業所によるニュークックチル方式による食事提供を実施します

	令和元年度
児童寮	B型委託（ニュークックチル）
第2成人寮	（児童のみ昼食はクックサーブ）
成人寮	成人寮直営（クックサーブ）

9.質の高い障害児施設をめざします
（1）赤穂精華園に質の高い障害児入所施設を構築し、五色精光園と出石精和園の児童寮を集約します



（2）「マカトンサイン」を取り入れ、コミュニケーションの幅を拡げ専門性の向上をめざす



10.障害者の資格取得による就労を促進します

介助補助コース「生活援助従事者」	PC事務コース「日商PC検定」	在宅就労コース「ひまわりラボ」

Ⅳ 堅実な運営の継続

1．誰もが働きやすい職場環境の実現をめざします

（１）支援･介護業務の負担軽減を図るため、特別養護老人ホームの勤務体系等を見直します

（２）育児短時間勤務制度等を拡充します

・育児時間を生後１歳６か月まで拡充

・子の看護等の期間を義務教育修了まで拡充

・育児短時間勤務を現行の３歳までに加え、条件を満たした場合、小学１年生から小学３年生の間も取得可能

（３）育休職員の職場復帰に向けた「産休･育休職場内ママ会」

産休・育児休業中の職員同士、子育て中の先輩職員、上司、施設長などが集い、職場復帰に向けた不安の解消や育児･子育ての悩みを話し合える場を設けます

2．業務の効率化と職員の負担を軽減します

（１）ＩＴ等端末を使用した業務の効率化

○インカム、タブレット、ＩＣタイムレコーダー

（２）ＷＥＢ会議の活用

職員の移動にかかる時間的コストを削減し、業務効率化を図ります

【ＷＥＢ会議での開催予定】

・予算関係ヒアリング

・事業ヒアリング

・職員研修等



3．介護･福祉専門人材の育成･強化を推進します

（１）介護福祉士の養成

○実務者研修の開講場所及び開講数を拡充

開講場所	神戸・県北部・淡路
開講数	３回（神戸１回・県北部１回・淡路１回）

（２）強度行動障害への対応を強化

○強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）、行動援護従事者研修の受講

○国立のぞみの園への研修受講

○障害施設経営指導者養成講座の開講

（３）介護支援専門員養成講座の開講

（４）喀痰吸引研修の実施

4．介護人材確保のため、多様な確保対策を推進します

（１）外国人技能実習生の受け入れ

介護技術の移転による国際貢献を果たすため、万寿の家で３名のベトナム人技能実習生を受け入れます

（２）キャリアアップ支援等制度の充実

職員等のキャリアアップを図るため、大学進学や資格取得の支援を充実します

・高等学校卒業者の通信制福祉系大学進学のための修学資金貸与制度の実施

・兵庫県立総合衛生学院介護福祉学科新入生修学資金貸与制度の実施

・看護学生に対する看護師修学資金貸与制度の実施　他

5．将来にわたり事業継続ができるように計画的に正規職員数（正規職員比率）を増やします

令和元年度：１０名を非正規職員の欠員補充として増員します

6．老朽化が進む施設の大規模改修や建替を計画的に実施します

（１）大規模改修

○改修工事の実施

・自立生活訓練センター、五色精光園児童寮

○改修計画等の策定

・出石精和園第２成人寮・児童寮、朝陽ケ丘荘、あわじ荘

（２）建替整備

○「出石精和園成人寮」の改築

完全個室化し、強度行動障害や高齢･重度化に対応したユニットを整備します

○定　員
入所100名
生活介護100名
短期入所４名



○「万寿の家」の移転改築

7．「中期経営方針」に基づいた効果的･効率的法人運営を推進します

（１）ガバナンスの充実

中期経営方針、令和元年度事業計画及びガバナンス推進計画はスローガンではなく、本当に実践する、本当に行動を変える取組です

これを実現するために、全職員で「行動変容」を理解･実践しつつ、様々な実践の効果を検証しながら取組を進め、新しい「組織風土」を定着させます

※ガバナンス推進計画に基づく重点取組内容

○将来を見据えた経営管理

○健全で効率的な組織運営

○リスク管理に関する体制

○コンプライアンスに関する管理体制

○事業運営の透明性

（２）事業部門推進会議の開催

障害福祉事業部門推進会議
高齢福祉事業部門推進会議

兵庫県社会福祉事業団　運営施設一覧

施　設　名		開設年月日	所　在　地	経営形態	頁数
総合リハビリテーションセンター					
中央病院		S44.10. 1	神戸市西区曙町	兵庫県指定管理	13
救護施設	のぞみの家	S41. 4. 1		自主経営	22
特別養護老人ホーム	万寿の家	S41. 4. 1			23
職業能力開発施設		S52. 7. 1		兵庫県指定管理	17
多機能型事業所	あけぼのの家	S43. 4. 1		自主経営	18
障害者支援施設	自立生活訓練センター	H 5.11. 1			19
障害児入所施設	おおぞらのいえ	H20. 4. 1		兵庫県指定管理	20
障害者スポーツ交流館		H18. 5. 1			21
福祉のまちづくり研究所		H 5.10.20			15
地域ケア・リハビリテーション支援センター		H23. 4. 1		自主経営	24
西播磨総合リハビリテーションセンター					
西播磨病院		H18. 7. 1	たつの市新宮町光都	兵庫県指定管理	26
研修交流センター		H18. 7. 1			28
ふれあいスポーツ交流館		H17. 4. 1			29
児童心理治療施設					
清水が丘学園		S50. 5. 1	明石市魚住町清水	兵庫県指定管理	42
こども発達支援センター		H24. 4. 1	明石市魚住町清水	兵庫県指定管理	43
洲本市五色健康福祉総合センター					
五色・サルビアホール（特別養護老人ホーム）		H21. 4. 1	洲本市五色町都志大日	洲本市指定管理	51
五色グループホーム		H21. 4. 1			
五色生活支援ハウス		H21. 4. 1			
グループホームひろいしの里		H20. 5. 1	洲本市五色町広石上	自主経営	52
特別養護老人ホーム（総合リハ・洲本市五色健康福祉総合センター内施設を除く）					
朝陽ケ丘荘		S47. 8. 1	佐用郡佐用町平福	自主経営	45
たじま荘		S49. 5. 1	豊岡市日高町十戸		46
あわじ荘		S49.10. 1	淡路市野島		48
	シルバーサポートのじま	H26.10. 6			
丹寿荘		S51 5. 1	丹波市市島町上竹田		49
	グループホーム 村いちばんの元気者	H19. 9. 1			
くにうみの里		H28.11. 1	洲本市下加茂		50
養護老人ホーム					
ことぶき苑		H21. 4. 1	豊岡市日高町祢布	自主経営	47
立雲の郷					
とらふす道場（健康プラザ）		H20. 5.24	朝来市和田山町竹田	自主経営	53
グループホームたけだ遊友館		H20. 4. 1			
障害者更生センター					
浜坂温泉保養荘		S58.12. 1	美方郡新温泉町浜坂	自主経営	54

施　設　名		開設年月日	所　在　地	経営形態	頁数
障害児入所施設・障害者支援施設・障害福祉サービス等（総合リハ内施設を除く）					
小野起生園		H10．7．1	小野市新部町1丁通	自主経営	31
小野福祉工場		H10．7．1	小野市新部町1丁通		32
出石精和園	児童寮	S41.10．1	豊岡市出石町宮内		33
	成人寮	S52．5．1	豊岡市出石町荒木		
	第2成人寮	H12．6．1	豊岡市出石町宮内		
	ひまわりの森	H22．4．1	美方郡香美町香住区森		41
	笑顔の森むらおか	H22．4．1	美方郡香美町村岡区村岡		
	RakuRaku	H24．4．1	豊岡市出石町町分		33
五色精光園	児童寮	S45．4．1	洲本市五色町下堺		35
	成人寮	S53．8．1	洲本市五色町広石北		
	かがやき事業所	H20．4．1	洲本市五色町都志大日		
	あゆみの部屋事業所	H21．4．1	洲本市五色町鮎原小山田		
	コスモス事業所	H21．4．1	洲本市池内		
赤穂精華園	児童寮	S46.11．1	赤穂市大津		37
	成人寮	S46.11．1			
	やまびこ寮	S49．4．1			
	有年事業所	H19．4．1	赤穂市有年		
丹南精明園		S54．6．1	丹波篠山市西古佐		39
三木精愛園		S57．8．1	三木市緑が丘町本町		40

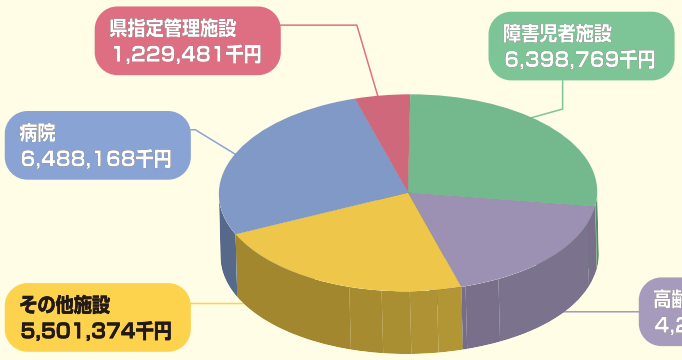
施　設　名		定員	開設年月日	所　在　地	経営形態
共同生活援助事業（★は主たる事業所）					
小野起生園	サンリット小野	8	H25．9．1	小野市黒川町	自主経営
	サンリット起生	8	H25.12．1	小野市黒川町	
出石精和園	こぶし荘（定員７名の内サテライト１名含む）	7	H 7．4．1	豊岡市出石町町分	
	いずし野	6	H15.10．1	豊岡市出石町東條	
	★ クレパス	10	H16.10．1	豊岡市日高町浅倉	
	あじさい	7	H17.10．1	豊岡市出石町町分	
	和（なごみ）	4	H18.10．1	豊岡市出石町宮内	
	ドリームハイツイズシ	6	H22．2．1	豊岡市出石町町分	
	★ レジデンスカスミA	5	H21．7．1	美方郡香美町香住区若松	
	レジデンスカスミB	5	H21．7．1	美方郡香美町香住区若松	
	レジデンスカスミC	5	H24．4．1	美方郡香美町香住区若松	
五色精光園	あおぞら	5	H16.10．1	洲本市五色町広石中	
	スイートピーI	9	H17.12．1	洲本市五色町都志万歳	
	スイートピーII	8	H17.12．1	洲本市五色町都志万歳	
	マーガレットI	6	H18．4．1	洲本市五色町都志万歳	
	マーガレットII	6	H18．4．1	洲本市五色町都志万歳	
	マーガレットIII	6	H18．4．1	洲本市五色町都志万歳	
	★ かがやき	10	H20．4．1	洲本市五色町都志大日	
赤穂精華園	はあと	4	H15．4．1	赤穂市加里屋	
	いちご	3	H15.10．1	赤穂市塩屋	
	きぼう	3	H16．4．1	赤穂市新田居村	
	みかん	3	H16．4．1	赤穂市塩屋	
	ともだち	5	H16.10．1	赤穂市加里屋	
	★ とまと（定員７名の内サテライト２名含む）	7	H17．4．1	赤穂市加里屋上町	
	ひかり	4	H17．4．1	赤穂市塩屋	
	ひびき	4	H17.12．1	赤穂市塩屋	
	★ ほのか	20	H19．4．1	赤穂市有年楢原	
	あかほ	8	H22.11．1	赤穂市大津	
丹南精明園	ハッピー	5	H15.10．1	丹波篠山市東岡屋	
	そら	5	H17.10．1	丹波篠山市住吉台	
	ゆめ	4	H17.10．1	丹波篠山市呉服町	
	★ にじ	10	H20．5．1	丹波篠山市中野	
	だいち	10	H20．5．1	丹波篠山市中野	
	ホープ	4	H24．5．1	丹波篠山市東吹	
三木精愛園	★ ひまわりの家	4	H17．4．1	三木市緑が丘町中	
	えんどう豆の家	4	H17.10．1	三木市緑が丘町東	
	そら豆の家	4	H18．4．1	三木市緑が丘町中	
	ピーナッツの家	4	H18．6．1	三木市緑が丘町本町	
	ココナッツの家	4	H20.11．1	三木市緑が丘町東	
	うぐいす豆の家	4	H21.10．1	三木市緑が丘町西	

令和元年度　当初予算

（単位：千円）

	収入		支出	
	勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
事業活動による収支	介護保険事業収入	4,206,937	人件費支出	11,729,116
	老人福祉事業収入	113,051	事業費支出	3,819,135
	児童福祉事業収入	173,112	事務費支出	2,084,374
	障害福祉サービス等事業収入	5,431,781	就労支援事業支出	280,872
	生活保護事業収入	329,595	利用者負担軽減額	11,318
	医療事業収入	6,107,524	支払利息支出	7,530
	指定管理料収入	1,208,310	その他の支出	9,679
	受託事業等収入	339,335	流動資産評価損等による資金減少額	0
	経常経費補助金収入	486,104		
	経常経費寄附金収入	2,687		
	義肢装具製作等収入	12,344		
	自動車訓練収入	2,937		
	保育料収入	5,220		
	能開収入	768		
	保養所収入	143,000		
	参加費収入	43,662		
	過年度収入	26		
	その他の収入	61,712		
	受取利息配当金収入	3,711		
	就労支援事業収入	290,351		
	事業活動収入計	**18,962,167**	**事業活動支出計**	**17,942,024**
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	316,940	設備資金借入金元金償還支出	63,304
	設備資金借入金収入	1,550,000	固定資産取得支出	4,969,146
			ファイナンス・リース債務の返済支出	19,042
	施設整備等収入計	**1,866,940**	**施設整備等支出計**	**5,051,492**
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	585,581	長期貸付金支出	15,595
			積立資産支出	628,711
			その他の活動による支出	55,314
	その他の活動収入計	**585,581**	**その他の活動支出計**	**699,620**
	前期末支払資金残高	**2,476,222**	予備費支出	**50,000**
	収入計	**23,890,910**	**支出計**	**23,743,136**

令和元年度　当初予算内訳



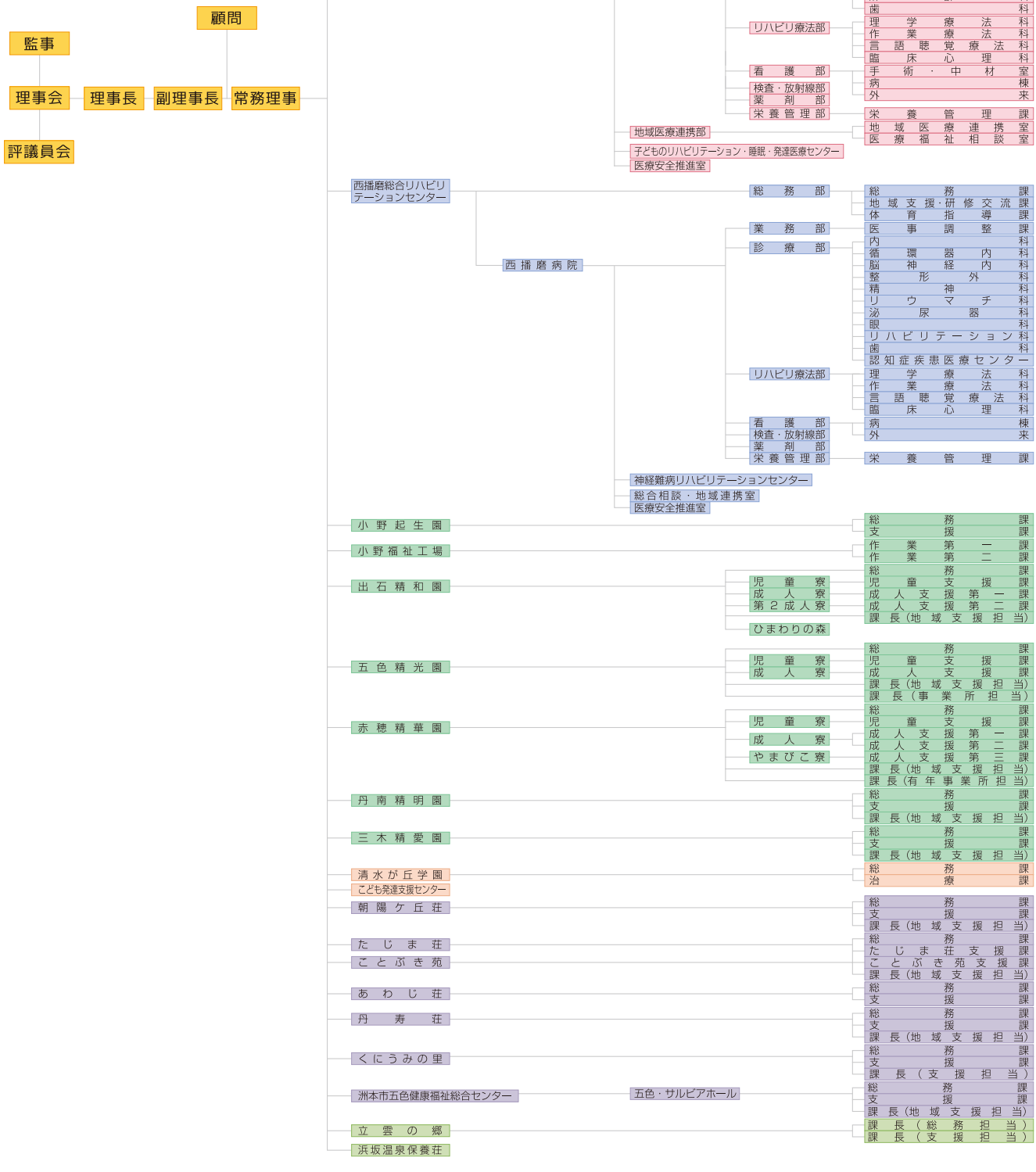
（単位：千円）

障害児者施設	6,398,769
高齢者施設	4,273,118
その他施設	5,501,374
病院	6,488,168
県指定管理施設	1,229,481
計	**23,890,910**

令和元年度 組織図

兵庫県
社会福祉事業団

平成31年４月１日現在



職員現員表

（H31.4.1現在、単位：人）

施設名＼職名	支援員等	看護師	事務職員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	医師	栄養士	心理判定員・心理治療士	体育指導員	臨床検査技師	診療放射線技師	薬剤師	医療ソーシャルワーカー	研究員	その他	計
事務局			28													5	33
総合リハビリテーションセンター	118	190	44	54	41	19	31	10	5	7	10	7	7	6	7	218	774
福祉管理部	55	5	22		1			2								43	128
総務課・保育室・医務室	4		20													11	35
福祉第一課（のぞみの家）	21	2	1					1								10	35
福祉第二課（万寿の家）	30	3	1		1			1								22	58
能力開発部	21															14	35
能力開発課（職業能力開発施設）	10															6	16
職業指導課（あけぼのの家）	11															8	19
自立生活訓練部	39	7	2	6	5	1		3		7						48	118
自立生活訓練課（自立生活訓練センター）	19	2	1	2	2			3								22	51
地域支援課（地域ケア・リハビリテーション支援センター）	7	3	1	4	3	1										12	31
療育指導課（おおぞらのいえ）	13	2														10	25
体育指導課（障害者スポーツ交流館）										7						4	11
福祉のまちづくり研究所	3		5	1	2										7	13	31
中央病院		178	15	47	33	18	31	5	5		10	7	7	6		100	462
管理部（管理課・経営経理課・医事課）			14													11	25
診療部							31									41	72
リハビリ療法部				47	33	18			5							7	110
看護部		174														39	213
検査・放射線部											10	7				1	18
薬剤部													7				7
栄養管理部								5									5
地域医療連携部（地域医療連携室・医療福祉相談室）		3	1											6			10
医療安全推進室		1														1	2
西播磨総合リハビリテーションセンター	1	57	12	24	21	12	9	1	4	6	3	4	3	2		81	240
総務部	1		9							6						29	45
総務課			6													5	11
地域支援・研修交流課（研修交流センター）	1		3													4	8
体育指導課（ふれあいスポーツ交流館）										6						20	26
西播磨病院		57	3	24	21	12	9	1	4		3	4	3	2		52	195
業務部（医事調整課）			3													4	7
診療部							9									24	33
リハビリ療法部				23	20	12			4							4	63
看護部		55														19	74
検査・放射線部											3	4					7
薬剤部													3				3
栄養管理部								1								1	2
総合相談・地域連携室		2		1	1									2			6
小野起生園	13	1	4					2								31	51
小野福祉工場	2		1													55	58
出石精和園	83	4	5					2								177	271
児童寮	17	1														10	28
成人寮	41	2	4					1								118	166
第２成人寮	14	1	1					1								16	33
ひまわりの森	11															33	44
五色精光園	80	4	5					2								116	207
児童寮	14	1						1								8	24
成人寮	66	3	5					1								108	183
赤穂精華園	87	5	7					2								134	235
児童寮	15	1	1													24	41
成人寮	56	3	5					1								85	150
やまびこ寮	16	1	1					1								25	44
丹南精明園	45	2	5					1								90	143
三木精愛園	52	2	5					1								93	153
清水が丘学園	23	1	3					1	13							10	51
こども発達支援センター	2	1	1		1	1	2		2							7	17
朝陽ケ丘荘	37	5	3					1								45	91
たじま荘	44	6	4					1								49	104
ことぶき苑	19	1	1					1								20	42
あわじ荘	37	4	4			1		1								47	94
丹寿荘	56	7	5					1								63	132
くにうみの里	44	4	4		1			1								41	95
洲本市五色健康福祉総合センター	56	5	5					1								55	122
立雲の郷	18	5	2	2						3						11	41
浜坂温泉保養荘			4													23	27
合　計	817	304	152	80	64	33	42	29	24	16	13	11	10	8	7	1371	2981

（注）2,981人の内訳　常勤職員(正規職員、契約職職員等)2,024人　非常勤職員956人

総合リハビリテーションセンター

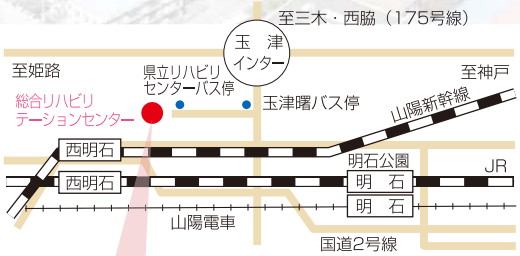
リハビリテーションにおける県域の中核施設



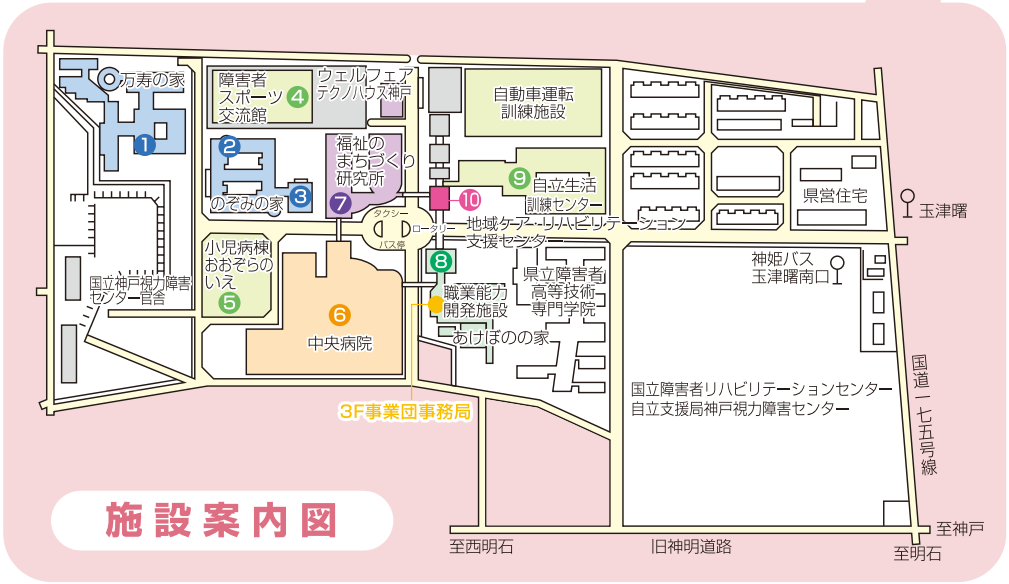
〒651-2181　神戸市西区曙町1070
TEL 078-927-2727㈹　FAX 078-928-7590
E-mail　info_riha@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/rihacenter/

総合リハビリテーションセンターの運営理念

1 リハビリテーションにおける県域の中核施設をめざすこと
2 高度で専門的なリハビリテーションを中心とした保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供し、障害者等の全人間的復権をめざすこと
3 専門的な研究・研修機能を充実し、情報提供及び人材養成を行うなど先導的役割を果たすこと



JR「西明石」駅から車で5分、徒歩25分
JR「明石」駅からバスで10分
第2神明道路玉津I.Cから南へ約2km



施設案内図


7 福祉のまちづくり研究所


8 職業能力開発施設・あけぼのの家


1 万寿の家

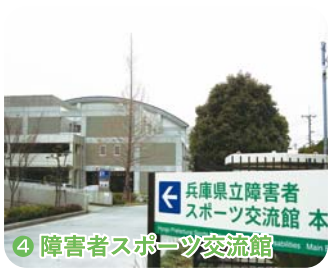

3 医務室（診療所）



5 小児病棟・おおぞらのいえ


9 自立生活訓練センター


2 のぞみの家



4 障害者スポーツ交流館


6 中央病院



10 地域ケア・リハビリテーション支援センター



中央病院

リハビリテーションにおける兵庫県域の中核病院

病床数 一般病床 330床

- 脳血管障害など回復期リハビリ病棟 …… 100床
- 脳卒中・神経難病など …… 50床
- 切断・脊髄損傷・泌尿器科疾患など …… 50床
- 骨関節疾患・脊椎疾患など …… 100床
- 小児整形疾患など …… 30床

診療科目 内科・循環器内科・脳神経内科・整形外科・リウマチ科・小児科・神経小児科・小児精神科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727㈹ FAX 078-925-9203
E-mail info_hp@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/hospital/

アクセスは12ページをご覧下さい

安全で質の高い先導的なリハビリ医療

兵庫県におけるリハビリテーション医療の中核病院として、地域で対応困難な重度の障害者を対象に高度で専門的かつ総合的なリハビリテーション医療を提供しています。

リハビリテーション医療の経験豊かな内科・脳神経内科・整形外科等の専門医、理学・作業療法士及び言語聴覚士等の専門職員が一体となったチームアプローチによる医療が特色です。

さまざまなリハビリに対応した設備

各病棟に電動スリークランクギャジベッドを採用し、脊髄損傷患者に対応した病棟の居室、浴室・トイレにはリフターを設置しています。また、充実したリハビリができるよう、広大なアトリウムからなる理学療法室、日常生活に不可欠な設備が整った作業療法室、リラックスしてコミュニケーションの取りやすい個室のある言語聴覚療法室、屋外での歩行練習や坂道・階段の昇降練習などを行う屋外練習場など、さまざまな設備を整えています。



▲リフター



▲運動療法アトリウム



▲屋外リハビリ広場

職員 Voice



作業療法士
福嶋 さゆり

中央病院には、在宅生活・社会復帰をめざし、幅広い年齢・さまざまな疾患を持った方々が入院しています。作業療法士は、そのような方々の目標を達成できるように、生活から社会へと視野を広く持ちながら関わっています。また、安心して退院後の生活を送ることができるように院内の多職種や地域との協働を意識したチーム医療を行っています。リハビリテーションの知識や技術も時代とともに移り変わる中、常に専門性の向上に努め、患者さんに寄り添った支援をしていきたいと思います。

子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター

2019年4月1日、小児部門を改編し、名称を「子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター」としました。チーム医療を一層推進し、地域の関連施設との連携を図り、小児整形外科疾患、脳性麻痺、肢体不自由、睡眠障害、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、発達性協調運動症、限局性学習症などの診療とリハビリテーションを行います。

リハビリテーションでは、粗大運動・日常生活・学習活動などの発達を支援するとともに、言語発達の促進や摂食・嚥下機能の向上を促す支援、発達・知能・情緒の心理検査も行っています。

小児整形外科部門では、先天性内反足、筋性斜頸、発育性股関節脱臼など代表的疾患の他に、多合指症や母指形成不全などの上肢の先天異常、四肢変形や短縮、骨系統疾患などの手術的加療も含めた診療を行っています。

肢体不自由部門では、脳性麻痺、二分脊椎、運動発達遅滞などを専門的視野で評価し、目標を設定して、発達の促進や機能の回復を目的としたリハビリテーションを行っています。また、年齢や状態にあった補装具も提供します。

睡眠障害・発達障害部門では、睡眠障害と体内時計の乱れによる脳機能低下・体力低下・自律神経失調症になった子どもの診療を行っています。睡眠障害を伴う発達障害児の早期リハビリテーションにも取り組んでいます。



▲小児リハビリテーション室

地域の関係機関との連携及び患者サービスの向上

地域医療連携室では、患者が安心して医療を受けられるよう、地域の医療機関や関係機関との効率的な連携を図ります。
後方支援である医療福祉相談室では、病院利用者やそのご家族が入院から退院まで、さらにその後の生活上の解決しなければならないさまざまな問題に関して、医療ソーシャルワーカーや退院支援看護師が相談を受け、専門的立場から支援を行います。

地域の関係機関との連携▶



脳血管疾患及び頭部外傷患者並びに脊髄損傷等の重度障害者へのリハビリテーション医療

脳血管疾患・頭部外傷・脊髄疾患・神経疾患などによって引き起こされる麻痺や言語障害を中心にした「機能障害」、日常生活動作における「能力障害」、さらには住まいや環境に関して社会復帰を妨げている「社会的不利」の状況に対応して、段階的にリハビリテーション治療プログラムを作り、種々の専門職からなるチームアプローチ及び病院内外の多くの部門との連携を行い、社会復帰に向けた治療を行います。



人工関節置換術等の手術医療

変形性股関節症や膝関節症などに対する人工関節手術、リウマチの患者に対する関節手術や人工関節手術、靱帯損傷などのスポーツ傷害に対する手術、頚椎や腰椎などの脊椎疾患に対する手術を行っています。
また、平成28年11月からは「人工関節センター」を設置し、膝や股関節の疾患に対する人工関節置換術とそれに対応した効果的なリハビリテーションを、患者ニーズに応じて積極的に推進しています。



神経難病等への対応

パーキンソン病や重症筋無力症などの神経難病、アルツハイマー病やその他の認知症などの神経変性疾患、ギラン・バレー症候群や慢性炎症性脱髄性多発根神経炎などの末しょう神経疾患に対し、神経筋生検などの病理学的検査、脳波・誘発筋電図・誘発脳波などの神経生理学的検査、CTやMRIなどの画像検査を実施し、診断精度の向上と治療・リハビリテーション方法の改善に取り組んでいます。



高次脳機能障害のリハビリテーション

頭部外傷の後遺症などによる高次脳機能障害に対し、作業療法士及び言語聴覚士によるリハビリテーション、心理判定員による経過観察評価とリハビリテーション等を行うとともに、総合リハビリテーションセンター内の社会・職業リハビリテーションとも連携し、在宅復帰に向けた支援を行っています。



患者向け教室

糖尿病に関する「生活習慣病を学ぼう会」、関節リウマチに関する「リウマチ教室」及び「脊髄損傷者の性機能に関する講習会」を主に入院患者を対象として実施しています。



泌尿器疾患への対応

脳卒中や脊髄損傷などの神経疾患に伴う排尿障害や性機能障害に対する診療・相談などを行っています。また、女性の尿漏れや排尿障害、膀胱脱などに対する専門外来として、女性排尿ケア外来を行っています。

音楽療法

脳卒中などの後遺症やパーキンソン病などに対して、音楽療法士による楽器演奏や歌唱を通じた注意障害の改善、手指や呼吸機能の維持、歩行時のリズム調整等の訓練を行っています。



最先端ロボット機器を用いたリハビリ

福祉のまちづくり研究所のロボットリハビリテーションセンターと連携し、ロボットテクノロジーを活用したリハビリの研究・開発・実践を行っています。筋肉の信号でハンドを動かすことができる電動の義手（筋電義手）、コンピュータ制御の高機能な義足、下肢に装着して歩行再建支援を行うロボットなど、人間装着型の最先端ロボット機器を用いたリハビリを行うとともに、新たなリハビリ・生活支援のためのロボット機器の研究・開発に取り組んでいます。



▲筋電義手の訓練

福祉のまちづくり研究所

ロボットリハビリテーションセンター

※「ロボットリハビリ」は社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団の登録商標です。

介護ロボット開発支援・普及推進センター

新たなる技術で未来を切り拓く

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）

ロボットリハビリテーションセンター・研究部門
TEL 078-925-9283
FAX 078-925-9284
E-mail info00@assistech.hwc.or.jp

アクセスは12ページをご覧下さい

介護ロボット開発支援・普及推進センター
TEL 078-920-9810
FAX 078-920-9807
E-mail robo-shien@assistech.hwc.or.jp
（福祉用具展示ホール TEL: 078-927-2727（代表） FAX: 078-927-2752）

研修部門
TEL 078-927-2727（代表）
FAX 078-925-4657
E-mail kensyu@hwc.or.jp

職員 Voice



主事
矢野 優

当研究所では、ユニバーサル社会の実現にむけ、ロボット技術・福祉機器の研究開発や、福祉用具の普及活動に取り組んでいます。新たな取組として、実際に機器を使用する住空間を再現し、企業のロボット開発や介護現場への導入を支援するための、次世代型住モデル空間を開設しました。今後も、さまざまな方の生活を豊かにできるよう、職員一丸となって研究開発等に取り組みます！

ユニバーサル社会実現のために

「ひと」から「まち」へ、「まち」から「ひと」を見つめ、すべての人々が、一人の人間として尊重され、等しく社会参加の機会が得られる社会の構築やユニバーサルデザインとは何かを考えながら、社会に還元できる「本当に役立つもの」の研究開発をはじめ、各種事業に取り組んでいます。

介護ロボット開発支援・普及推進センター

2019年4月開設

研究所2階に整備した次世代型住モデル空間や1階の福祉用具展示ホールを有機的に連携・活用し、企業の介護ロボットの開発支援や家庭や施設への導入支援、介護ロボットの普及推進を積極的に推進するため、平成31年4月介護ロボット開発支援・普及推進センターを開設しました。

次世代型住モデル空間は、実際の居住空間に合わせた居室や廊下・トイレなどの生活空間を再現し、介護ロボット等の家庭や施設などでの使いやすさ等を実証評価し、企業の開発や家庭や施設への導入を支援するため、平成30年10月研究所2階にオープンしました。

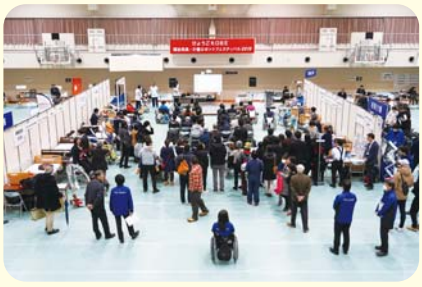
福祉用具展示ホールでは、介護ロボットや福祉用具約730点を展示・機器の常設展示や特別展示会・セミナー等の開催を通じてさまざまな情報を提供するとともに、高齢者や障害者の生活改善に役立つ機器の相談支援や導入支援を行います。



▲福祉用具展示ホール



▲介護ロボットフォーラムの開催



▲福祉用具・介護ロボット
フェスティバルの開催



▲次世代型住モデル空間
介護負担量の評価

ロボットリハビリテーションセンター

総合リハビリテーションセンター内にある立地環境を活かし、医療施設や高齢者施設、障害者支援施設等の現場ニーズに基づいた介護リハビリロボットの研究開発をすすめています。臨床現場やメーカー、大学等との連携を図りながら、実用的な機器の開発、研究成果をめざし、研究開発に取り組んでいます。また、補装具製作施設として、補装具の製作・修理を行っているほか、小児筋電義手バンクの運営をしています。



▲補装具の製作・修理



▲開発中の改良型筋電義手



▲開発中の筋力計測スクリーニング（Body-KIN）

～小児筋電義手バンク～

小児筋電義手バンクは、子ども用の筋電義手（筋肉が収縮する際に発生する微弱な電流を利用して動かすことができる電動の義手）の普及を目的として、設立されました。

兵庫県をはじめ、全国各地の多くの皆さまから温かなご厚意をいただいており、筋電義手を必要とするお子さまへの訓練用筋電義手の無償貸し出しや小児筋電義手の訓練を行う人材の育成などに活用させていただいております。



本当に役立つ研究の推進

ユニバーサル社会の実現のため、高齢者や障害者に「本当に役立つもの」の研究開発を進めており、ロボットリハビリテーションセンターでの「ロボットテクノロジー」の研究開発に加え、「居住支援」「移動支援」のための研究開発に取り組んでいます。

■認知症の方の住環境改善に向けた研究



▲認知症促しシステム開発に向けた実験



▲認知症のくらしのヒント集の作成

■車椅子の開発に向けた実験



▲車椅子のブレーキ力評価用ホイールの開発



▲車椅子のスロープ降下実験

福祉人材の育成

誰もが住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らすために、高齢者や障害者の方に適切な支援を行う専門的人材の育成を目的に、委託研修や自主研修を行っています。

国の法定研修である「認知症介護研修」「相談支援従事者研修」「サービス管理責任者研修・児童発達支援管理責任者研修」「強度行動障害支援者養成研修」のほか、高次脳機能障害研修や介護職員向け研修、法定研修修了者のフォローアップ研修等さまざまな研修を開催し、介護・福祉サービスの質の確保に必要な知識や技術が習得できるよう、県内外の関係者とともにカリキュラムの充実をはかっています。

また介護者の腰痛予防や負担軽減、利用者の安全安心につながる「持ち上げない介護」の普及を推進するため、リフトなど福祉用具を用いた体系的な研修を実施し、モデル施設と協力・連携を図っています。





▲ノーリフティングケア研修



職業能力開発施設

障害のある方の『働きたい』に応えます

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727(代)　FAX 078-925-9223
E-mail　noukai@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/noukai/

アクセスは12ページをご覧下さい



職業能力の評価・開発訓練

障害のある方が、職業的可能性を見いだし、働く場を得てその生活を継続できるよう支援していくことを目的に設置された、兵庫県独自の施設です。科学的な評価システムによる職業能力の評価と、作業環境を工夫した開発訓練、職場実習、定着支援など、一連の就労支援サービスを提供しています。

幅広い視点の評価と実務に向けた訓練

職業評価・訓練

ライン作業やピッキング作業などのワークサンプル(作業標本)をはじめ、事務作業、パソコン操作等、さまざまな視点から就業に向けて必要とされる作業能力や労働生活習慣の評価をし、適切な進路や訓練目標の設定につなげています。また、必要に応じて反復的な模擬訓練から実践的な訓練の他、日商PC検定の資格取得に向けた訓練も行っています。

在校生職能評価

特別支援学校等の在校生を対象に、2～4日間の日程で現状の能力や課題を評価し、適切な進路や訓練目標の設定につなげています。年間で370名を超える生徒の評価を行っています。



▲評価ワークサンプル

さまざまな事業で、全県の就労支援の推進を担って

障害者雇用・就業支援ネットワーク

障害者雇用推進に向けて、就労支援関係機関から当事者団体、事業主から労働組合まで含め、全県的に連携を進めていくシステムの事務局を担当しています。

発達障害・高次脳機能障害のある方の就労支援

労働局（ハローワーク）、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、大学、発達障害者支援センター、高次脳機能障害相談窓口などと連携し、障害のある方の就労支援をチームで実施しています。

障害者しごと体験

就職を希望する障害者に就労体験や職場見学等しごと体験の機会を提供するために、受入企業（協力企業）の開拓・確保から、しごと体験の実施調整等を行います。

重点分野（清掃・介護）における就労促進

就労に必要な基礎知識と技術習得を、専門家から教わる研修会を開きます。

また、知的障害者を対象に「生活援助従事者」の資格取得に向けた研修を行います。

障害福祉サービス事業所の工賃向上支援

障害福祉サービス事業所の作業技術向上の支援を行います。そこで作られた商品の販路開拓等を支援します。



▲障害者しごと支援事業



▲障害者しごと体験事業



▲ビルメンテナンス技術習得訓練



▲重点分野就労促進事業

職員 Voice



支援員
石定 由志雄

職業能力開発施設では特別支援学校の生徒や障害者手帳等の有無に関わらず就労に向けて課題を感じている方を対象として、どのような部分に適性や課題があるのかを作業を通して評価し、今後の適切な進路選択や就職に向けた訓練につながるよう報告を行ないます。

当施設を利用された方々が自分にあった職業選択につながるよう職員が協力し一丸となって取り組んでいます。

その他の事業

- ビルメンテナンス技術習得訓練事業
- 訪問型職場適応援助促進助成金事業（ジョブコーチ）
- 職業ガイダンス
- 就労移行支援事業（特化型）



あけぼのの家

障害のある方々の「働く」を応援します

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727(代)　FAX 078-925-9228
E-mail　info_akebono@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/akebono/

アクセスは12ページをご覧下さい

多機能型事業所

就労移行支援 …… 10名　就労定着支援
就労継続支援Ｂ型 …… 40名



ボーノちゃん



障害者の就労を応援

障害のある方に働く場を提供し、自立した日常生活と社会経済活動の参加を応援するとともに、企業等に就職して働き続ける力をつける訓練など、個々のニーズに寄り添ったさまざまな就労支援サービスを提供しています。

高工賃を目指して

就労継続支援B型事業

障害のある方々の働く場を提供し、高工賃支給のため、さまざまな生産活動支援を行っています。

また、個別支援の必要な方や段取り・手順が理解できる方など、一人ひとりに合わせた作業の仕方を工夫しています。

職員食堂（キッチン・アケボーノ）のランチ製造販売、企業から受託した部品加工、名刺・冊子等のデザインや印刷、病院の植栽管理、総合リハビリテーションセンター内の清掃等、多様な活動機会の提供を行っています。



▲軽作業



▲軽作業



▲清掃



▲食品加工（キッチン・アケボーノ）



▲軽印刷

一般企業への就職支援

就労移行支援事業

企業への就職を希望する方に、就労に向けて必要な知識、能力の向上を図れるよう支援しています。評価、実践作業訓練、求職活動、マッチング、職場定着支援を行っています。

就労移行支援では、職業準備性を高めるための基礎訓練を行い、応用・実践訓練へとステップアップします。

また、グループワークや個別支援により、就労意欲の増進を図っています。



▲就労準備訓練



▲作業訓練
（焼きたてパンAKE-BUONO）

就労を長くつづけるために

就労定着支援事業

就労の継続を図るために企業等との連絡調整や就労に伴い生じる課題解決に向けて必要な支援を行っています。



▲就労定着支援

職員 Voice



支援員
人見 夏花

あけぼのの家利用者様は、年齢や障害もさまざまなことが特徴ですが、お互い協力しながら熱心に作業に取り組んでおられます。

また、さまざまな作業があることも特徴です。「苦手なことがあっても大丈夫、得意なことがあるじゃない」「課題があっても大丈夫、しっかりサポートしますから」常にそんな気持ちで利用者様の良いところに視点を置いた支援を心掛けています。

その他の事業

自由時間の活動支援等を目的とした「土曜オープンday」の実施



自立生活訓練センター

多彩な訓練プログラムを提供し あなたの目指す『社会復帰』を支援します!!

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727(代)　FAX 078-925-9229
E-mail　info_jiritu@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/jiritsu

アクセスは12ページをご覧下さい

障害者支援施設

施設入所支援…… 135名
自立訓練　（機能訓練100 ・ 生活訓練32）…… 132名
短期入所



社会復帰を目指し、ニーズに合わせた自立訓練を支援

自立生活訓練センターは、『ともに頑張る仲間がいます。あなたなりの自立を目指して…』をモットーに、身体に障害のある方や高次脳機能障害のある方に対して、社会復帰を目指した自立訓練（社会リハビリテーション）を行っています。

利用者のニーズに応じた訓練メニューを選定し、訓練・評価・生活支援を通し、身体能力・社会生活力などを向上させ、職場や学校、家庭など、地域社会へ復帰するために必要な機能の回復を図ります。

機能・体力の向上、自立した生活を目指して

車いす操作訓練、立位歩行訓練、坂道訓練などを通して、体力や移動能力の向上を図るとともに、障害者手帳を利用した公共交通機関を利用する訓練を行います。また、日常生活動作の自立に向けた練習や単身生活に向けた調理訓練など一人ひとりのニーズに合わせた訓練を実施しています。さらに、障害者スポーツ交流館を利用したマシントレーニングやさまざまなレクリエーションスポーツを行い、障害者スポーツへの参加も支援しています。

自立訓練（機能訓練）



屋外での車いす操作訓練▶

自立訓練（生活訓練）

病気や事故の後遺症として高次脳機能障害（注意障害・記憶障害・遂行機能障害・失語症等）を有する利用者に、集団プログラムを実施しています。また、家族との協働により効果的な対応方法を検討し、その成果を施設や地域での生活につなげていきます。



▲単身生活シミュレーション

社会復帰に向けて

利用者個々へのアプローチ

復学、復職、就労、単身生活など、利用者個々の目標は異なります。それぞれの状況に合わせたプランを立て、よりスムーズな社会復帰につながるよう支援しています。



◀住宅訪問による改修案の提案



復職に向けた通勤練習▶

障害者自動車運転相談センター

自動車運転評価・訓練

障害のある方の自動車運転操作能力を評価する「試乗適性評価」、自動車運転の「習熟訓練」を行い、移動手段としての実用性を見極めます。脊髄損傷、左・右片麻痺など障害特性に合わせた改造車を使用でき、自家用車の選定や改造、免許更新時の手続き等に関するアドバイスも実施しています。また、近隣教習所と連携し、自動車運転免許の新規取得に向けて支援しています。



▲自動車の車いす積み込み動作

職員 Voice



作業療法士
折出　優

当施設では、脊髄損傷や脳血管障害などにより後遺障害を負った方々が、互いに切磋琢磨し、主体的に日々の訓練に取り組んでおられます。一年以上の訓練を経て、自動車運転の獲得や復職・就労、単身生活の再開などを達成される利用者様も多く、私たち職員も達成感を共有できることに大変やりがいを感じています。支援員、看護師、管理栄養士、学習指導員、運転指導員、セラピストなど多職種が連携し、利用者一人ひとりの目標に応じた支援を提供いたします。

その他の事業

・介助犬・聴導犬の認定審査事業



おおぞらのいえ



おひさまより　まぶしい
笑顔がいっぱい　おおぞらのいえ

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727㈹　FAX 078-925-9253
E-mail　oozora@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/ozora

アクセスは12ページをご覧下さい

障害児入所施設……20名
短期入所……4名
児童発達支援……10名
日中一時支援　（日帰り利用）＜神戸市 ・ 明石市指定＞1～2名

障害のあるこどもたちを支援する施設

養護性の高い肢体不自由児を主として受け入れ保護するとともに、温かい家庭的な雰囲気をもった生活の場を提供し、こどもたち一人ひとりの自立に向けた支援を提供しています。



医療（訓練）との連携

中央病院（小児整形外来）の処方に基づく訓練を受けています。また、日常生活場面では、看護師や支援員が体力づくりや機能維持、心身の健やかな成長を促す支援に努めています。セラピストとのカンファレンスも実施しています。

教育との連携

おおぞらのいえの入所児童は、併設された兵庫県立のじぎく特別支援学校おおぞら分教室（幼稚部～中学部）、高等部からはスクールバスで本校に通学します。施設と学校で定期的にカンファレンスを実施し、個々の状況に応じた支援を行っています。

地域で暮らす障害のあるこどもと家族への支援

短期入所
・身体等に障害のある児童を短期間預かり、入浴・排せつ・食事の介護等を行います。

日中一時支援（日帰り利用）
・神戸市・明石市の指定を受け、日帰りのショートステイを提供しています。

児童発達支援
身体等に障害のある、また発達の気になる就学前の児童を対象に、日常生活動作の習得および集団生活への適応に必要な支援を行っています。


▲食事の練習



▲スポーツ大会参加


▲行事（すいか割り）

職員 Voice



支援員
牧本　響

おおぞらのいえには、主に身体に障がいのある子どもたちが生活しています。それぞれの子どもたちに、必要なケアを行ったり、病院のセラピスト、学校の先生、保護者の方々と連携しながら、自立した生活をおくるのに必要な力が身につくよう支援をしています。さまざまな季節行事も取り入れ、家庭のような温かい雰囲気で、子どもたちの笑顔があふれています。


▲児童発達支援

障害者スポーツ交流館

する!みる!支える!
笑顔で仲間とスポーツを!!

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727(代) FAX 078-927-8022
E-mail kouryukan@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/kouryukan/

アクセスは12ページをご覧下さい



職員 Voice



体育指導員
藤田 早希

当施設は、地域の皆様から障がいをお持ちの方までたくさんの方々が利用し、スポーツ教室からアスリートの育成まで幅広く活動を行っています。
2020年の東京パラリンピックに向けて、パラリンピック競技に注目が集まっているこの機会に当施設で一緒に身体を動かしましょう!

スポーツを通じた健康づくりと交流の場を提供

平成18年10月に開催された、「のじぎく兵庫大会（全国障害者スポーツ大会）」にあわせ、県下障害者スポーツ振興の中核拠点施設として開設されました。主な事業は、健康の維持増進、競技力向上、社会参加の促進等を目的に各種スポーツ大会や教室、社会貢献事業等を関係機関との連携を図りながら開催しています。2020年東京パラリンピックが決定し、県内各障害者競技団体・個人への育成強化にかかる情報の収集と提供、指導支援にも取り組んでいます。

すそ野の拡大

スポーツ大会、教室や体験会等を通じて、スポーツ人口の増加を図ります。



▲卓球交流会

選手の育成強化

各種大会や強化練習会を開催し、個人、団体の育成強化を図ります。



▲パラリンピック選手発掘事業（シッティングバレーボール）

社会貢献・情報収集と発信

関係機関と連携し、市民講座や地域交流事業を開催しています。



▲障害者スポーツフォーラム

介護予防とリハビリスポーツの推進

健康体操教室等を通じて、中高齢障害者の方々の健康維持増進を図ります。



健康体操教室▶

障害者スポーツ指導者、ボランティアの養成

障害者スポーツを支える、人材育成を図ります。



兵庫県障害者スポーツ指導者講習会▶

施設の概要



▲ツリークライミング

1階・・・ 駐車場（120台）
2階・・・ アリーナ（バスケットボールコート2面分）
障害者スポーツに配慮した施設環境になっており、下記のようなスポーツの実施が可能となっています。
・バドミントンコート6面　・ボッチャコート8面　・シッティングバレーボールコート4面
・フライングディスクアキュラシー10サイトなど　・ツリークライミング（国内初の設備が設置されています）
3階・・・ トレーニング室（筋トレマシン8機種、有酸素系マシン6機種等）
フリークライミングボード　アーチェリー設備（30m・4的）　観戦スペース（200㎡）

開館時間　9：00～21：00　休館日　毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、12/29~1/3
※施設のメンテナンス等により臨時休館日を設ける場合があります。



のぞみの家

夢と潤いのある生活を目指して

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727㈹　FAX 078-925-9275
E-mail　info_nozomi@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/nozomi/

アクセスは12ページをご覧下さい

救護施設……入所 100名
保護施設通所……9名
神戸市認定就労訓練……3名

自立を目指す施設

生活保護法第38条で規定された救護施設で、さまざまな障害を持ち地域においてひとりで生活することが困難なため保護を必要とされる方々を受け入れ、日常生活の自立に向けて援助・介護などのサービスを提供しています。

また、社会のニーズに応えられる救護施設であるために、地域のセーフティネットの一翼として精神病床からの退所者、矯正施設等からの退所者、ホームレス等の社会的支援を必要とする方々を受け入れ、地域生活への移行支援の充実と自立に向けた支援を積極的に実施しています。



地域での居宅生活を目指して

居宅生活訓練事業

サービスの提供により生活力が向上された利用者が地域での生活へと移行を進めるため、福祉事務所等と連携し近隣のアパート等を借り上げ、居宅生活に必要な訓練を実施し在宅生活につなげていきます。



調理実習▲

潤いのある生活のために

日中活動の充実

日中の時間を利用して、緩衝材の袋詰めや中央病院の屋外リハ訓練場の清掃等を作業として行っています。

また、多くのボランティアに生花クラブ・音楽クラブ・セラピードッグ・茶話会のお手伝い等で協力をしていただいています。

そして、当センターの専門職の協力を得て理学療法士や作業療法士によるリハビリテーションの指導を受けたり、体育指導員によりスポーツレクリエーションを実施しています。



▲カラオケクラブ

社会生活力向上のために

社会生活力プログラム

のぞみの家では、毎週木曜日に、利用者の社会生活力向上のため、『社会生活力プログラム』を実施しています。健康、金銭管理、コミュニケーション等テーマを決めて、グループワークを中心に取り組んでいます。テーマに応じて、自分の意見を整理しながら発表したり、人の意見を聞いたりすることで、自分自身の生活を振り返り、社会で生活する力を付けていくことを目標にしています。



▲小野福祉工場見学

▼グループワークの様子



職員 Voice



支援員
箱根 洋介

のぞみの家では、さまざまな理由で地域での生活が困難な方が生活をされています。地域移行や自立に向けて、社会生活力プログラムや居宅生活訓練事業、調理実習や脳トレ、園芸など各種クラブ活動に取り組んでいます。なかでも社会生活力プログラムでは、掃除や防災など、実生活に必要な知識を学び合う場となっています。

今年度から開始した認定就労訓練事業では、「社会に出るのが不安」「直ぐには一般企業で働くのは難しい」等の方々に、就労体験の場を提供しています。今後も地域と共に歩んでいける施設をめざしていきたいと思います。

医務室（診療所）



診療科目：内科、眼科、歯科
http://www.hwc.or.jp/nozomi/
診療は、内科・歯科：2回／週
　　眼科　　：2回／月　行われています。

医療法に基づく医療機関として、中央病院をはじめ、近隣の医療機関と連携を取りながら、救護施設「のぞみの家」と特別養護老人ホーム「万寿の家」の利用者への医療サービスを行っています。また、施設医療の充実を目的に、各施設の看護師と連携し、定期健診や予防接種、歯科検診などを行っています。



万寿の家

総合リハビリテーションセンター内にある特性をいかし、安全・安心を守る万寿の家

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727㈹　FAX 078-925-9276
E-mail　info_manjyu@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/manju/

アクセスは12ページをご覧下さい

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 …… 85名
短期入所生活介護 …… 7名

県内最初の特別養護老人ホーム

兵庫県で最初の特別養護老人ホームとして開設され、短期入所の在宅サービスも提供しています。
2020年には移転する計画があり、県下特養のトップランナーとしてロボット機器の導入及びこれに伴う介護技術を先導・発信するとともに、地域の安心拠点としてユニバーサルな施設をめざします。



癒し犬たきお

ユニットケアの推進

3つのユニット（西棟・中棟・北棟）で利用者一人ひとりを尊重し、潤いと安らぎが得られるよう個別の目標を揚げて生活支援を行っています。


生花▲

ノーリフティングケアの推進

『押さない・引かない・持ち上げない・ねじらない・運ばない』というノーリフティングポリシーの考え方に基づいて、ケアを行う姿勢や方法を見直し、福祉用具を有効に活用することで、利用者、職員の双方にとって安心で安全な介護を提供します。
新たな福祉用具を導入したり、ノーリフティングケアの技術習得に向けて取り組んでいます。


▲スタンディングリフトの導入


◀ノーリフティングケア勉強会

多くのボランティアの受け入れ

20年から30年間継続して活動している多くのボランティアグループがあり、さまざまな活動を通して「地域とともに歩む施設」が支えられています。今後も、地域との共生に向け、開かれた施設づくりを推進します。


▲交流会

個別ケアの推進

歯科医師や歯科衛生士との連携による誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアや医師との連携による看取り・褥瘡ケアを実践しています。また、メーカーとの連携による各利用者に応じたおむつケア、シンバイオティクス導入による排便コントロール、排尿センサーを用いたケア等、快適な排泄ケアに力を入れています。


▲メーカーとのおむつケア研修


▲排尿センサー

介護ロボットの導入・推進

福祉のまちづくり研究所と協力し、介護ロボットのユーザビリティー評価施設としての役割を担っています。導入した介護ロボットをケアの中で有効に活用していくため、日々取り組んでいます。


▲赤外線センサーシステムによる見守りケア

職員 Voice


支援員
石川　姫

万寿の家では利用者様一人ひとりに寄り添った支援を日々心掛けています。また、季節に応じた行事や食事、カラオケ等のボランティア活動で見せてくださる利用者様の笑顔が職員の励みになっています。2020年には北区に移転予定ですが、新しい万寿の家では50年の歴史を守り、より質の高い介護サービスの提供ができるようノーリフティングケアなど新たな取組にも挑戦しながら頑張っていきます。

その他の事業

・介護予防短期入所生活介護
・障害者短期入所

地域ケア・リハビリテーション支援センター



住み慣れた地域で いきいきとした生活ができるよう 全力でサポートします

事業所・窓口　兵庫県地域リハビリテーション支援センター
高次脳機能障害相談窓口
障害者地域生活支援センター
居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション
在宅ケアステーション

〒651-2181　神戸市西区曙町1070
（総合リハビリテーションセンター内）
TEL 078-927-2727㈹　FAX 078-925-9299
E-mail　consult_reha@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/rihacenter/sougousoudan.html

アクセスは12ページをご覧下さい

地域生活における相談及び支援を行う総合窓口

地域ケア・リハビリテーション支援センターでは、高齢者や障害者が地域の中で安心して暮らし続けられるよう、看護師、リハビリスタッフ、介護支援専門員、訪問介護員など多職種が有機的に連携し、トータルな医療・福祉サービスを提供しています。

職員 Voice



作業療法士
安藤　悠

地域ケア・リハビリテーション支援センターでは、地域で暮らす全ての人に、「住み慣れた地域で生き生きとその人らしい暮らしができる」よう、県や市町村といった地域社会への取組から、地域で暮らす利用者様やそのご家族まで、幅広くサポートしています。
また、多職種で、密な連携を取り合うことができ、地域に寄り添った専門的なサポーターとして、さまざまな問題に立ち向かっています。

県下の地域リハビリテーションを推進します!

兵庫県地域リハビリテーション支援センター

全県支援センターとして県下に9箇所ある圏域支援センターとともに地域リハビリテーションの推進体制づくりと、市町や介護サービス事業所への専門職員派遣等により地域包括ケアシステムの推進を図る取組をしています。



▲地域での介護予防の取組

障害者の地域生活を全力で支援!

たまつあけぼの障害者地域生活支援センター

神戸市西区にお住まいの障害児や障害者とそのご家族等との電話、来所、訪問等による相談を行っています。また、西区自立支援協議会の事務局でもあり皆様がその人らしい生活がおくれるよう地域の仕組みづくりを行っています。



▲電話相談も受けています

在宅での「自分らしさ」を支える!

総合リハ居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護保険に関する相談・質問に応じ、介護保険サービスを利用しながら住み慣れた地域で暮らせるよう調整します。また、介護認定の申請の代行も行います。



▲すべては利用者との面談から

一人ひとりの心の想いに真摯に向き合う!

総合リハ高次脳機能障害相談窓口

脳外傷や脳疾患などが原因として起こる高次脳機能障害を持つ方を対象に、医療・福祉サービス、社会保障制度、就労就学に関する相談を行っています。ご本人の状況の把握・社会資源等の説明、必要な関係相談機関との連携を行っています。



▲相談窓口のパンフレット

暮らしの「安心」サポーター!

総合リハ訪問看護ステーション

自宅等で療養生活をしている方を対象に、看護師や理学療法士、作業療法士等が訪問し、ご本人やご家族に対して生活の質を高めるためのサービス提供を行っています。また、ステーションでは利用者の暮らしの安心をサポートするために、各職種が常に連携して、ケース検討会議を重ねています。



▲訪問に出かけます

自宅での自立生活をサポート!

総合リハ在宅ケアステーション

私たち訪問介護員は、利用者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活が継続できるようにサポートしています。当センターの特性を活かし、他職種との連携を持ちながら高齢者や障害者に対してさまざまな角度から質の高いサービスを提供することを目標に支援しています。



▲利用者様と一緒に買い物支援



西播磨総合リハビリテーションセンター

豊かな緑と自然に包まれて地域とともに歩み、成長する総合リハビリテーション

〒679-5165　たつの市新宮町光都1丁目7-1
TEL 0791-58-1050㈹　FAX 0791-58-1070
E-mail　info_nishiharima@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/nishiharima/



JR相生駅から車で20分、バスで30分
JR播磨新宮駅からバスで26分
播磨新宮I.C.から車で6分

障害者・高齢者の自立と社会参加の支援を

兵庫県西部の豊かな自然に囲まれ、人と自然が調和する播磨科学公園都市に、西播磨病院、研修交流センター、ふれあいスポーツ交流館（体育施設）の 3 施設を設置し、障害者や高齢者の自立と社会参加の支援のためのリハビリテーションサービスを提供しています。西播磨病院では、従来のリハビリ療法に加え、音楽療法や園芸療法の多様なリハビリテーション療法を提供、研修交流センターでは、障害者や健常者の共生の場の提供と地域の福祉ニーズに応えるために、研修や地域との交流等を実施、また、ふれあいスポーツ交流館では、障害者スポーツ等の普及に取り組んでいます。

施設案内図



❶ 西播磨病院




内観


病棟

❷ リハビリガーデン



❸ 研修交流センター



❹ ふれあいスポーツ交流館




トレーニング室


プール

西播磨病院

チーム医療をモットーに質の高い
リハビリテーションをめざします

〒679-5165　たつの市新宮町光都1丁目7-1
（西播磨総合リハビリテーションセンター内）
TEL 0791-58-1050㈹　FAX 0791-58-1071
http://www.hwc.or.jp/nishiharima/hospital/

アクセスは25ページをご覧下さい



病床数　一般病床100床
- 回復期リハビリテーション病床 …… 50床
- 障害者施設等一般病棟 …… 50床

診療科目　内科、脳神経内科、循環器内科、整形外科、もの忘れ外来、リウマチ科、泌尿器科、リハビリテーション科、眼科、歯科

患者さま本位のサービス提供

早期の在宅復帰をめざした集中的･効果的なリハビリを提供するため、休日においても個別訓練を実施するとともに、退院後も安心してリハビリが受けられる介護保険による通所リハビリテーションを実施しています。

運営理念および基本方針

運営理念

地域とともに歩み成長するリハビリテーション専門病院をめざします。

運営基本方針

1　先進的で個別的なリハビリテーションサービスを提供します。
2　早期に家庭へ復帰し、地域でその人らしい生活ができるようめざします。
3　情報を共有し、安全・安心で患者と家族本位のチーム医療サービスを提供します。
4　人間性豊かで専門技術に優れたリハビリテーション人材の育成に努めます。

リハビリテーション西播磨病院は
日本医療機能評価機構認定病院です

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC2162 号

本体審査
病院機能評価3rdG:Ver.1.1

付加機能審査
リハビリテーション機能
（回復期）Ver3.0

先進的・特徴的な取組

●SPECT-CT検査



体内に注入したＲＩ（放射性同位元素）の分布状況を断層画面で見る検査のことです。
従来のＣＴでは表わせなかった血流量や代謝機能の情報が得られるため、とくに脳血管障害や心疾患の診断で威力を発揮します。

●反復経頭蓋磁気刺激治療

反復経頭蓋磁気刺激治療と集中訓練により機能回復をめざす、先進的な取組を行っています。



●表面電気刺激装置

筋肉を電気的に刺激して、運動の回復を図る訓練を取り入れています。



●基準嗅覚検査



●失語症外来

一定期間が過ぎていても、医師が必要と認めた方に対して、専門訓練やフォローを行っています。



職員 Voice



看護師
田中 賢司

当院は、専門性の高い医療チームで、質の高い治療・看護を行っています。神経難病センターや認知症疾患医療センターの開設、認定看護師による看護相談等、常に地域に根差した取組を心掛けています。患者様同士の交流の場を提供し、患者様・ご家族の目線に立った看護を心がけ、安心して自宅での生活に戻れるように取り組んでまいります。

地域での生活を支える医療サービス

●短時間通所リハビリ
（対象：介護保険の認定者）

訪問調査により、生活状況を踏まえたうえで、必要なリハビリを行います。



●認知症疾患医療センター

認知症の予防から相談、診断、リハビリ、訪問まで専門スタッフによるサポートを行っています。



●神経難病リハビリテーションセンター

神経難病リハビリテーションに関する「治療・研究」を中心に、「研修・養成」、「情報提供」及び「相談」を一体的にサービス提供いたします。



●総合相談・地域連携室

生活上の不安や心配ごとに対して相談に応じ、より良い解決方法が見つかるようにお手伝いいたします。

個別的なリハビリテーション

当院では、理学療法、作業療法、言語聴覚療法によるリハビリテーションを回復期病棟を中心に３６５日体制で実施しています。このほか、音楽療法、園芸療法や認知リハビリテーションなど多様な取組を進めています。


▲歩行練習


▲手の機能訓練


▲発声訓練


◀電動車いす練習


▲自動車運転評価


▲摂食・嚥下訓練


▲高次脳機能検査


▲楽器演奏


▲野菜・花の育苗

多様なニーズへの対応

病棟生活がリハビリの場として意欲を高められるように働きかけ、個別性を重視した適切な援助を展開しています。認定看護師による看護相談をしています。


▲リエゾン回診


▲パーキンソン患者の集団訓練


▲看護相談


▲嚥下体操

県民公開講座

地域住民に、難病等疾病の正しい理解と、リハビリテーション西播磨病院の取組を知ってもらえるよう、公開講座を開催しています。



研修交流センター

実践に役立つ研修を受けるなら なんといっても 西播磨リハセンターが一番

〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1
（西播磨総合リハビリテーションセンター内）
TEL 0791-58-1050(代) FAX 0791-58-1070
E-mail hrn_complaza@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/nishiharima/seminar_exchange/

アクセスは25ページをご覧下さい



情報発信と地域支援の推進

リハビリテーションに関する広範な領域の研修会を実施し、リハビリ関係職員の知識や技術の向上に努めるほか、福祉用具展示ホールでの用具に関する相談への対応、地域の拠点として西播磨病院の入院患者や地域住民を対象とした各種の交流事業の実施、また、専門人材の派遣による障害者・高齢者の地域支援を行っています。

生活を支援する用具の展示

約360㎡の広さをもつ福祉用具展示ホールでは、車いす・ベッド・杖・靴などのさまざまな福祉用具750点以上を展示しています。在宅でのより良い生活を支援するために、最新情報の提供や適切な福祉用具の選定ができるようセラピストなど専門職と連携し、相談業務を行っています。

また、団体見学や福祉体験学習を通して、福祉用具の普及啓発を図っています。



▲福祉用具展示ホール

施設の概要

福祉用具展示ホール・交流ホール・研修室・サークル室（陶芸・音楽）・交流サロン・屋外広場・レストラン・売店

【福祉用具展示ホール】

開館時間 9：00 ～ 17：30
休 館 日 祝日・12/29 ～ 1/3

職員 Voice



主事
敏森 由起

福祉用具展示ホールでは、実際に用具をゆっくり「見て・触れて・試して」をモットーに、スタッフ全員で用具の紹介や使い方などの相談、情報提供を行っています。

また、隣接する病院と連携し、認知症や神経難病に関する用具として、昨年から「脳活バランサー」や「視線入力装置」の常設展示をしています。

これからも、用具の充実に取り組み、来場者の思いに寄り添いながら、誰もが安全に、快適に暮らしていただけるよう、日々努めていきます。

充実した研修を通じて福祉や医療現場の人材育成を目指す

リハニーズに対応した『脳血管障害』『パーキンソン病』『高次脳機能障害』『園芸療法』『音楽療法』などの研修及び、介護意識・技術の向上として『ポジショニング』『排泄ケア』『介護技術』などの研修を年間約20講座開催しています。質の高い高齢者・障害者福祉サービスが展開できる人材育成を図っています。



▲排泄ケア研修



▲介護技術研修

地域住民と交流する

西播磨病院の入院患者と地域の障害者・高齢者をはじめとした住民が、芸術活動の発表の場として、また交流を目的に「ふれあいリハフェスタin西播磨」「ロビーコンサート」「クリスマス会」「病院ギャラリーの展示」「陶芸・絵手紙教室」などを実施しています。地域交流事業を通して、多くの方に当センターの存在を知っていただき、サポーターとして支えられています。



▲ふれあいリハフェスタ



▲病院ギャラリー展示



▲クリスマス会

ふれあいスポーツ交流館



スポーツを通じた「共生社会」の実現をめざして



〒679-5165 たつの市新宮町光都1丁目7-1
（西播磨総合リハビリテーションセンター内）
TEL 0791-58-1313　FAX 0791-58-1323
http://www.hwc.or.jp/nishiharima/kouryuukan/
アクセスは25ページをご覧下さい

職員 Voice



体育指導員
有吉　陸

ふれあいスポーツ交流館は、豊かな自然に囲まれた中で健康の保持増進・競技力の向上のためのトレーニング、ヨガやピラティスなどの運動教室、パラスポーツ大会などさまざまな体験ができる施設です。目的はさまざまですが、スポーツを通じて地域の方々・高齢者・障害者などさまざまな人たちが交流しています。2020年は東京パラリンピックが開催されます！開催前にパラスポーツを少しでも知ってみませんか？

「共に生きる」喜びと心の豊かさを分かち合う交流の場

健康と体力づくりからアスリートの強化までを担う障害者スポーツ施設として、県下の障害者・高齢者等に対するスポーツの普及・振興や健康の維持増進、社会参加の促進に寄与しています。また、障害者スポーツ及びリハビリテーションにかかる専門的な知識と技術を提供するとともに、すべての人々が「共に生きる」喜びと心の豊かさを分かち合うことができる交流の場を提供しています。

障害者・高齢者を対象としたスポーツ教室等の開催

スポーツ愛好者の増加と競技力の向上を図ります。



▲障害児親子水泳教室

障害者スポーツ大会の開催

競技スポーツの振興を図ります。



▲西日本交流車椅子バスケットボール大会

予防的リハビリテーションの普及

高齢者等の健康づくりに効果が高い予防リハの普及を図ります。



▲健康増進トレーニング教室

スポーツを通した地域住民・児童生徒等との交流事業の実施

地域の障害者スポーツの啓蒙活動に寄与します。



小学生サマースクールでのスポーツ用車椅子体験▶

障害者スポーツの指導者・ボランティアの養成

障害者スポーツの振興を支える人的体制の充実・強化を図ります。



STT指導者・審判講習会▶

施設の概要

①**アリーナ** … バスケットボールコート2面分
②**温水プール** … 25m×6コース、ジャグジー、採暖室
③**トレーニング室**
… 筋トレマシン6機種、有酸素系マシン7機種等
④**芝生広場** … グラウンドゴルフコース3面分
⑤**家族更衣室あり**

開館時間　9:00～21:00
（温水プールについては9:30～20:45）
休 館 日　毎週火曜日
（祝日の場合はその翌日）、12/29 ～ 1/3
利用申し込み
※利用を希望される方は、電話等でお問い合わせください。
（休館日以外、日曜・祝日も受け付けています。）

障害福祉サービス等

生活介護		常に介護を必要とする人に、昼間、入浴・排せつ・食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供します。
短期入所（ショートステイ）		自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴・排せつ・食事の介護等や日常生活上の支援を行います。
施設入所支援		施設に入所する人に、夜間や休日、入浴・排せつ・食事の介護等や日常生活上の相談支援等を行います。
自立訓練（機能訓練・生活訓練）		自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
就労移行支援		一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために事業所内や企業において作業や実習等の訓練を行います。
就労継続支援（A型、B型）		一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
就労定着支援		就労移行支援等を利用して、一般企業に就労した人の雇用の継続を図るため、関係機関との連絡調整を行うとともに、日常生活及び社会生活上の相談支援等を行います。
共同生活援助（グループホーム）		夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談・入浴・排せつ・食事の介護等の日常生活上の援助を行います。
地域相談支援	地域移行支援	入所施設等から退所する人に対して、施設等と連携しながら地域移行に向けての支援を行います。
	地域定着支援	入所施設等から退所した人等に対して、地域生活継続のための支援を行います。
計画相談支援 障害児相談支援		障害のある人、又は、障害のある児童に対して、適切なサービス利用等に向けて、サービス等利用計画の作成等の支援を行います。
相談支援		障害のある人、その保護者又は介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行います。また障害のある人の権利擁護のために必要な支援を行います。
日中一時支援		障害のある人に日中における活動の場を確保し、その家族の就労支援及び介護している家族の一時的な負担軽減を図ります。
救護施設		生活保護法第38条に基づく施設で、障害種別を問わず要保護者を受け入れ、意向に添った自立支援を行うとともに、その人らしい豊かな生活の実現に向けた支援を行います。

児童福祉サービス等

障害児入所施設	児童福祉法第42条に基づき、障害のある児童を入所させて、保護するとともに、独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする施設です。
児童心理治療施設	児童福祉法第43条の2に基づき、家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童を、短期間、入所させ、又は保護者の下から通わせて、社会生活に適応するために必要な心理に関する治療及び生活指導を主として行い、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設です。
児童発達支援	障害のある児童に、日常生活動作の指導や、集団生活に対する適応訓練等の支援を行います。
放課後等デイサービス	障害のある児童に、生活能力の向上に向けた訓練や、社会との交流が図れるように支援を行います。



▲五色精光園成人寮



▲赤穂精華園やまびこ寮

小野起生園

自立生活の創造
介護から地域生活までの総合的支援を展開する障害者支援施設

〒675-1355 小野市新部町1丁通1320
TEL 0794-66-4570 FAX 0794-66-6156（総務課）
TEL 0794-66-6121 FAX 0794-66-6158（支援課）
E-mail info_ono@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/kiseien/

アクセスは32ページをご覧下さい



障害者支援施設

施設入所支援…36名
短期入所……2名

生活介護
第一生活介護…20名
第二生活介護…20名



その人らしい生活をめざして

小野起生園では、その人の「暮らす」と「働く」をテーマに、ライフステージに合わせた自立に向けた支援を行っています。また、施設だけのサービスにとどまらず、行政・医療機関・地域コミュニティ等との「地域連携」により、一人ひとりのニーズに合った支援をめざしています。

暮らす ～安心・潤い～

施設入所・短期入所

好きな物を買いたい、行ってみたいところがある、一人暮らしがしたい等、その人の自己実現を支援しています。また、季節行事を開催し、施設での生活が豊かなものになるよう支援しています。地域の方の必要に応じて短期入所の受入も行っています。



◀希望外出
（浜坂温泉保養荘）

園内行事▶
（年忘れ会）





◀短期入所部屋

働く・楽しむ ～いきがい・やりがい～

生活介護

利用者のニーズに合わせて第一生活介護と第二生活介護に分かれてサービスを提供しています。第一生活介護は入浴やレクレーション等生活支援を中心に、第二生活介護は作業活動、クラブ活動を中心に楽しみや働く意欲を支援しています。



▲第一生活介護（公園へ散歩）



▲第二生活介護（調理クラブ）



▲第二生活介護（作業）

地域生活 ～グループホーム～

共同生活援助

近隣にはスーパー、飲食店、医療機関があり、とても便利なところに位置しています。世話人や生活支援員が食事の提供や相談などの援助を行い、地域生活を支援しています。



▲グループホーム外観
「サンリット小野」「サンリット起生」



▲温泉旅行

職員 Voice



支援員
田村 尚弘

利用者様は、平日は個々の能力に応じた作業を分担しながら熱心に取り組んでおり、休みの日は自由に外出を楽しむことで、メリハリのある生活を送っておられます。自身で外出できない方も、外出支援や今年度開始した個々の望むリフレッシュ活動に参加することで、楽しみのある生活が送れるよう取り組んでいます。

相談支援

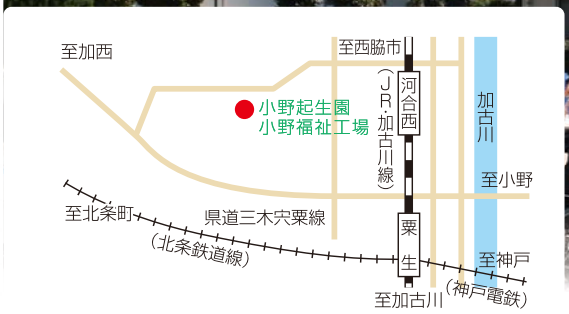
利用者やご家族から、これからの生活に対する思いをうかがい、適切な障害福祉サービスの利用・生活等に関する情報提供・各種手続きの代行・ご相談・アドバイス等の支援をしています。



小野福祉工場

〒675-1355　小野市新部町１丁通1320
TEL 0794-66-6561　FAX 0794-66-6562
E-mail　info_ono@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/koujyo/





山陽自動車道「三木小野」I.C.から車で20分
JR加古川線「河合西」駅から徒歩20分

多機能型事業所

就労継続支援Ａ型 …… 30名
就労継続支援Ｂ型 …… 30名

生産活動等に参画できるような工場運営への取組み

就労継続支援A型

労働法規の適用を受け、障害者に「仕事」と「職場」を提供しています。仕事量の確保が障害者雇用に直結するため、受託企業が求める品質と生産性の向上をめざし取り組んでいます。


△自動車部品組立作業

個々の能力に応じた個別作業支援

就労継続支援B型

一般企業で就労が困難な方に対して、企業からの受託作業、家電製品のリサイクル作業等を中心に働く場を提供するとともに、知識及び能力向上のために必要な訓練を行っています。


△苗木保護チューブ組立作業

職員 Voice



技術指導員
大森 隆彦

小野福祉工場は小野市の西部、自衛隊青野ヶ原駐屯地と隣接する場所にあります。障害者の就労の場としてA型事業、生産活動としてB型事業の運営を行っています。働くことの喜びや、収入を得て生活を支える、自立するという喜びを感じていただけるよう、利用者様とスタッフが共に支え合い働いています。

障害者の就労の場として

小野福祉工場は、身体・精神・知的に障害をお持ちの方に「仕事」と「職場」を提供し、社会的、経済的に自立した生活を営むことができるよう支援しています。



地域に開かれた施設運営

利用者のニーズに適切に応え、就労の場を提供するため、市町をはじめ、ハローワーク・障害者地域生活相談支援センター・特別支援学校等、関係機関との連携のもと事業運営を行っています。


△施設見学風景



△地域利用者の送迎



出石精和園

コウノトリとともに未来へはばたく出石精和園

〒668-0261 豊岡市出石町荒木1300
TEL 0796-52-4811 FAX 0796-52-4856

児童寮

〒668-0204 豊岡市出石町宮内1031
TEL 0796-52-3438 FAX 0796-52-3439

障害児入所施設 （施設入所支援 ・ 生活介護）30名
障害児通所支援……20名
短期入所……2名

成人寮

〒668-0261 豊岡市出石町荒木1300
TEL 0796-52-4811 FAX 0796-52-4856

障害者支援施設
施設入所支援……100名
生活介護……100名
短期入所……2名

第２成人寮

〒668-0204 豊岡市出石町宮内1031
TEL 0796-52-3438 FAX 0796-52-3439

障害者支援施設
施設入所支援……40名
生活介護……40名
短期入所……4名

出石精和園地域支援センター

〒668-0221 豊岡市出石町町分212
TEL 0796-52-5288 FAX 0796-52-5322

多機能型事業所ＲａｋｕＲａｋｕ

〒668-0221 豊岡市出石町町分21-3

多機能型事業所
就労継続支援Ｂ型……40名
生活介護……20名

楽々庵出石店(うどん屋)／らくらくベーカリー（パンの王様）

TEL 0796-52-4106

ラクラク工房（作業所）

TEL 0796-20-1117 FAX 0796-52-4107

楽々庵（豊岡店）

〒668-0033 豊岡市中央町2-4（豊岡市役所新庁舎2F）
TEL 0796-24-3188 FAX 0796-24-3188

E-mail info_izushi@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/seiwaen

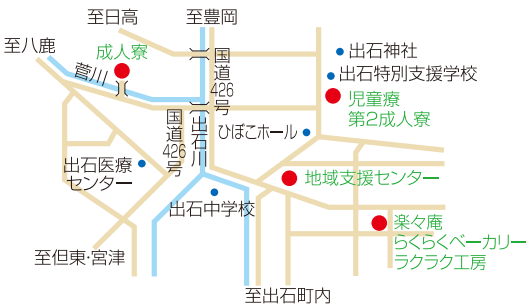
地域から愛され、信頼される施設づくりを推進

但馬の小京都とも呼ばれ、城下町として400年を超える歴史を持つ豊岡市出石町の外れに、山の緑と田園風景に囲まれ穏やかな環境の中に各施設が点在します。

そこで、障害を有する幼児から高齢者まで、地域で生活されサービスを必要とされる方の良き相談窓口となり、利用者一人ひとりが地域生活をスムースに行えるよう、関係機関と連携して各種の事業サービスを提供します。







JR山陰本線「江原」「八鹿」「豊岡」駅から
全但バス「水上」下車　徒歩10分
播但連絡道路「和田山」I.C.から車で45分



出石精和園
マスコット
キャラクター
「ハートちゃん」

職員 Voice



支援員
中村 遥香

利用者様が毎日を楽しく過ごしていく中で、皆様が自分でできることは自身で考えて行動できるように支援しています。諦めずに取り組む姿や、色々なことに挑戦する姿、これまでできなかったことができたときの利用者様の笑顔や、やりきった表情は印象的です。これからも、色々なことに挑戦する利用者様をサポートし、笑顔あふれる生活が送れるように頑張ります。

のびのび育む自立の心　児童寮

自立、日常生活能力の向上に向け、外出や地域行事への参加を通し、社会生活力を養う支援を行っています。また、文化活動にも力を入れ、音楽療法やボランティアによる茶道体験など、余暇の充実も図っています。

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業「児童通所支援事業所ぽけっと」では、利用者が持っている力や可能性を引き出し、のびのびと自信を持って生活できることをめざして活動をしています。


▲音楽療法


◀よさこい


▲茶道

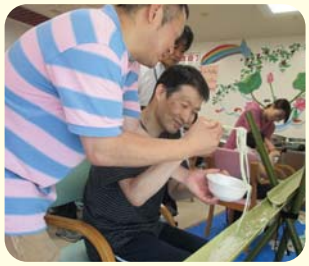

▲ぽけっと

笑顔あふれる　その人らしい生活　成人寮

その人らしい生活をめざし、施設入所支援のほか、日中活動では個別のニーズに応じて、日常の介護・軽作業・生活に潤いが持てる余暇支援（外出・音楽療法・文化・創作活動）などを行う生活介護事業を展開しています。


▲外出


▲華道


▲流しそうめん


▲委託作業

生まれ育った街で暮らし続けるために

出石精和園地域支援センター

障害をもつ人が、その人らしく、安全・安心に、地域で暮らし続けるためには、多種多様な社会資源を的確に調整する必要があります。当センターでは計画相談支援はもとより、市町から受託する基本相談支援や兵庫県から受託する障害者等相談支援コーディネート事業も含め、専門性の高いケアマネジメントを実践します。また、地域における「すまい・暮らし」の拠点となるグループホームも積極的に整備し、サービス提供を実践しています。

その他の事業

- 障害者等相談支援コーディネート事業
- 日中一時支援事業
- 相談支援事業
- 共同生活援助事業（グループホーム）
  「こぶし荘」「いずし野」「クレパス」「あじさい」
  「和（なごみ）」「ドリームハイツイズシ」

ゆっくりゆったり思い出づくり　第2成人寮

おおむね45歳以上の方が生活されています。健康で楽しく日々を過ごせるよう口腔ケアを実施するとともに、足浴・マッサージを行い、血行促進やリラクゼーションを図っています。また、レクリエーション化した機能訓練、音楽、創作、華道・茶道、陶芸等の活動を提供しています。さらに、故郷訪問や四季折々に外出し、思い出づくりを担っています。


▲たなばた


▲節分

自分らしく生きるために　多機能型事業所 RakuRaku

当事業所では、地域の中で障害者の方の「働く」、「暮らす」を支援するため就労継続支援Ｂ型事業、生活介護事業を展開しています。

平成25年から豊岡市役所本庁舎において「楽々庵」豊岡店の食堂営業を行っています。地域の皆様から愛されている焼きたてパンの「らくらくベーカリー」、うどん・日替わりランチが人気の「楽々庵」出石店に加えて平成31年4月からニュークックチル方式による施設給食の提供を児童寮、第２成人寮で開始しています。また、生活介護事業を平成29年４月に開始し、生産活動や創作活動を中心に活動的な生活介護事業をめざし運営を行っています。


▲生活介護の様子


▲ラクラク工房での作業風景


▲らくらくベーカリーでの作業風景


▲楽々庵での作業風景


▲楽々庵「豊岡店」



▲地域イベント出店の様子

五色精光園

365日24時間、看護師配置の安全・安心な施設



成人寮

〒656-1332　洲本市五色町広石北847
TEL 0799-35-0231　FAX 0799-35-0844
E-mail　seikouen@athena.ocn.ne.jp

障害者支援施設	施設入所支援…… 80名 生活介護…… 100名 短期入所…… 7名

児童寮

〒656-1337　洲本市五色町下堺1062-3
TEL 0799-35-0326　FAX 0799-35-0725
E-mail　goshiki_jido@hwc.or.jp

障害児入所施設…30名（施設入所支援・生活介護）
障害児通所支援…10名／短期入所……2名

かがやき事業所

〒656-1331　洲本市五色町都志大日707
TEL 0799-33-1192　FAX 0799-33-1191
E-mail　goshiki_chiiki@hwc.or.jp

多機能型事業所	自立訓練　（生活訓練）… 20名 就労移行支援　（2019年度休止）

あゆみの部屋事業所

〒656-1317　洲本市五色町鮎原小山田510-7
TEL 0799-32-0400　FAX 0799-32-0410
E-mail　ayuminoheya@canvas.ocn.ne.jp

多機能型事業所	生活介護…… 20名 就労継続支援Ｂ型…… 20名

コスモス事業所

〒656-0042　洲本市池内1248-6
TEL 0799-23-1421　FAX 0799-23-1422
E-mail　cosmos-sumoto@solid.ocn.ne.jp

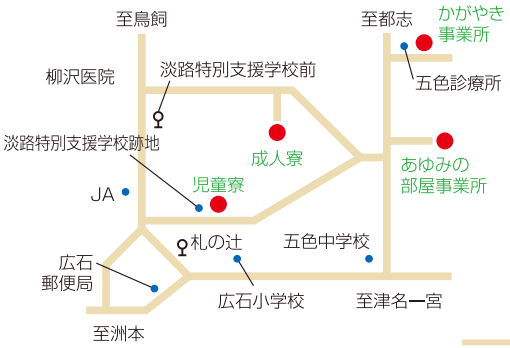
多機能型事業所	生活介護…… 20名 就労継続支援Ｂ型…… 10名

ありがとうの笑顔　地域とスクラム　みんなの未来へ

五色精光園は、「花と緑と玉葱の島」淡路島のほぼ中央部洲本市に位置しています。365日24時間看護師配置の障害者支援施設をはじめ、障害児施設、グループホーム、相談支援事業、障害者就業・生活支援センター、多機能型事業所等を運営しています。

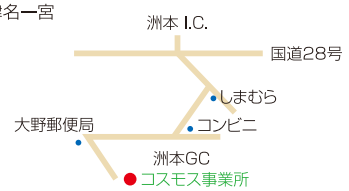
五色精光園成人寮は平成24年3月の改築整備において全室個室、全館ユニバーサル仕様となり、障害特性に応じたユニット支援に取り組んでいます。特に、県下初となる高齢・重度者ユニットでは「高齢及び医療的ケアも要する重度知的障害を有する利用者」に『ゆったりのんびり心豊かに、その人のペースで充実した生活を過ごしてもらいたい』を合言葉に、一人ひとりの安全・安心を担保したその人らしい生活を支援しています。

成人寮・児童寮・かがやき事業所・あゆみの部屋事業所



児童寮：淡路交通バス「淡路特別支援学校前」下車　徒歩 10分
成人寮：路線・高速バス「五色バスセンター」下車　車　10分

コスモス事業所



神戸淡路鳴門自動車道洲本 I.C.から6km

http://www.hwc.or.jp/seikouen/

職員 Voice



支援員
末吉 龍介

五色精光園は、地域に開かれた障害児者支援の拠点的役割を担っており、利用者様一人ひとりに寄り添った支援を提供しています。私は、児童寮支援員に着任し1年が経ちました。日々悩むことも多いですが、チーム一丸となり支援できることが一番の強みであり、魅力だと感じています。利用者様が安全・安心に生活が送れるよう、今後もさらに質の高い支援をめざし続けたいと思います。



▲地域貢献活動

こぼれる笑顔、こだまする笑い声

児童寮

「こぼれる笑顔、こだまする笑い声」を合言葉に、子どもたちの健やかな成長・発達をめざし、各種専門職・関係機関との連携による支援に取り組んでいます。交流ホールの地域への開放や、「精光園ライブラリー」活動の充実、障害児通所支援や短期入所など、淡路圏域唯一の知的障害児施設としての拠点的役割を果たしています。


▲施設 外観


▲お菓子作り(精光園ライブラリー)


▲余暇活動(卓球サークル)


▲工芸教室

健康で楽しく いきいきとした生活づくり

成人寮

利用者一人ひとりの個性と想いを大切にした個別支援計画に基づき、線香箱折り等の委託作業、理学療法士、健康体操インストラクター、音楽療法士、指ヨガ、和太鼓、舞踊等の外部講師と連携した、健康で楽しくいきいきとした生活づくりに向けた支援を進めています。


△成人寮 玄関


▲指ヨガ



▲淡路精神保健福祉大会での和太鼓「響」


▲ブラッシング指導

地域の中でその人らしさをはぐくみ支え合う

かがやき事業所

グループホーム、自立訓練、就労支援関係事業（障害者就業・生活支援センター、障害者専門職業紹介、ジョブコーチ支援）、相談支援の事業を実施しています。各事業が連携し、障害を有する方が地域の中で自分らしく暮らせるよう支援します。


▲施設 外観


▲社会体験実習(切符購入)


▲自立訓練(個別プログラム実習)


▲チーズ作り体験

くらす・はたらく、地域の日中活動拠点

あゆみの部屋事業所・コスモス事業所

両事業所とも多機能型事業所（生活介護・就労継続支援Ｂ型）として運営しています。心身機能の維持・増進、創作活動の支援のほか、淡路特産のたまねぎ等農作物や健康志向のパン、クッキーづくり・販売や、老人ホーム等の清掃委託作業を通し、やりがいと働く喜びを感じられるよう、また、地域とのつながりを大切にした支援を進めています。


▲あゆみの部屋事業所 外観



▲コスモス事業所 外観


▲あゆみの部屋事業所
天然酵母のパン


▲コスモス事業所
クッキー製造

その他の事業

- おもちゃライブラリーの実施
- 障害者就業・生活支援センター事業
- 障害者専門職業紹介事業
- 訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援事業
- 日中一時支援
- 相談支援
- 共同生活援助事業（グループホーム）
  「あおぞら」「スイートピー Ⅰ・Ⅱ」
  「マーガレット Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「かがやき」

赤穂精華園

桜と太鼓で地域と共生する赤穂精華園



〒678-0252　赤穂市大津1327
TEL 0791-43-2091　FAX 0791-43-7404
E-mail　info_ako@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/seikaen/



WEST神姫バス「居村」下車　徒歩15分
山陽自動車道赤穂I.C.から車で5分

児童寮

障害児入所施設…… 40名
（施設入所支援・生活介護）
障害児通所支援…… 10名
短期入所…… 2名

やまびこ寮

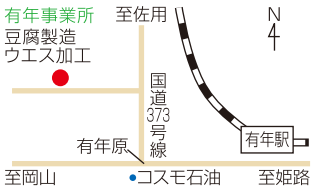
障害者支援施設
　施設入所支援…… 40名
　就労移行支援…… 6名
　就労継続支援B型 … 34名
短期入所…… 2名

成人寮

障害者支援施設
　施設入所支援
　　第一施設入所支援 120名
　　第二施設入所支援 64名
　生活介護
　　第一生活介護 ……140名
　　第二生活介護 …… 64名
短期入所…… 4名

有年事業所

〒678-1181　赤穂市有年楢原1393
TEL 0791-49-2871　FAX 0791-49-2896

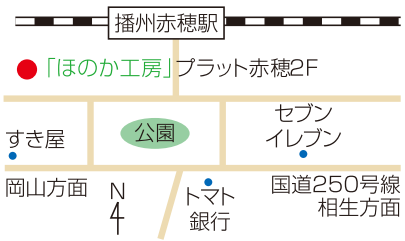


JR山陽本線
「有年」駅から
徒歩10分

就労継続支援B型 ……20名
グループホーム「ほのか」 ……20名

ほのか工房

〒678-0239　赤穂市加里屋290-10
TEL 0791-56-9660　FAX 0791-56-9661



忠臣蔵のふるさとにある施設

赤穂精華園は瀬戸内の温暖な気候と自然に恵まれ、忠臣蔵のふるさととして知られる赤穂市にあります。「地域に愛され親しまれる施設」をモットーに、赤穂精華園祭、赤穂精華園セミナーを開催しています。一人でも多くの地域住民に知ってもらい、地域とともに歩んでいく施設をめざします。

子どもたちのよりよい育ちをめざして

児童寮

児童寮では、自立や共生をめざし社会的ルールやマナー、基本的な生活習慣を学んでいます。日帰り旅行や理容室等の利用により、社会スキルの向上やコミュニケーション能力を高め、生活していく力を培っています。

児童寮で行われる行事は、利用者が主体となり行っている「やんちゃ会」の話し合いで、決めています。また、毎月の「こどもクッキング」では、利用者が、調理方法を相談し協力し合っています。将来の地域移行に向けて、利用者の自発性や協調性の向上をめざし、利用者の強みを引き出せるよう支援しています。

放課後等デイサービス事業では、在宅の障害児を受け入れ、自信を持って、のびのびと活動ができるよう取り組んでいます。


▲ヒップホップダンス


▲こどもクッキング

職員 Voice


支援員
吉田 憲吾

私が勤務している成人支援第一課で力を入れていることは、一人ひとりの笑顔を大切にすることです。

当課では利用者様が色々な体験をしてもらえるよう沢山イベントがあります。そこでは普段意志表示が苦手な方も笑顔が見られるので、私も嬉しくなりやりがいを感じます。

利用者様が充実し、質の高い生活を送れる支援をめざして、日々努力を重ねていきます。

一人ひとりの笑顔を大切に

成人寮（成人支援第一課）

楽しく潤いのある生活をめざす生活介護と施設入所支援事業を行っています。「その人らしい生活」を考えながら、利用者の思いや個性に配慮した支援を行っています。

季節の行事に加え、個々の利用者の趣味趣向に応じて、陶芸教室や音楽療法、ヨガ教室などさまざまな活動に取り組み、生活の充実をめざしています。また、日帰り旅行などの施設外活動や、地域のイベントへの参加を通じて地域との関わりを持ちながら、利用者一人ひとりの笑顔を大切に支援しています。



▲誕生会



▲農耕作業 ジャガイモ掘り

就労する喜び、働く喜びが実感できる場所



▲受託清掃作業



▲受託除草作業

やまびこ寮（成人支援第三課）

就労移行支援事業では一般就労をめざして、受託軽作業、座学、施設外作業、企業実習等に取り組んでいます。毎年、一人ひとりの能力に応じた就職先を探し、長く働けるよう支援しています。

就労継続支援Ｂ型事業では、花苗、野菜、漬け物、とんぼ玉等の生産・製作・販売活動を行うとともに、除草作業・清掃作業を受託し、工賃を支給しています。工賃を生活用品の購入や日常の楽しみに使うことで、働くことの楽しさや喜びを実感し、やりがいを感じられるよう支援しています。



▲受託定植作業

その他の事業

- 障害者就業・生活支援センター事業
- 障害者専門職業紹介事業
- 日中一時支援
- 相談支援
- 訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援事業
- 共同生活援助事業（グループホーム）
  「はあと」「いちご」「きぼう」「みかん」「ともだち」「とまと」
  「ひかり」「ひびき」「あかほ」

みんな元気で楽しく過ごそう!

～一人ひとりに合わせた健康維持と楽しみづくりのお手伝い～

成人寮（成人支援第二課）

成人支援第二課（重度棟）では、高齢化に伴い、利用者の体力維持を図ることを目的に、理学療法士等の専門職に相談しながら、個々に応じた補装具等の提供やリハビリ実施計画書に基づいたリハビリを実施しています。また、健康な歯で美味しい食事を目標に、歯科衛生士のブラッシング指導を受けながら、口腔ケアを行っています。穏やかに日々の生活を送っていただくように、利用者個々の特性に配慮した支援、ＱＯＬ（生活の質）の向上、楽しみの機会を持てるような支援を心がけながら、日々取り組んでいます。



▲PT指導



▲中庭でのくつろぎのひととき

働く喜び・生きがいづくりを提供します

有年事業所

有年事業所では、就労継続支援B型とグループホームを運営しています。定員は、いずれも20名で、グループホームは女性専用となっています。

就労継続支援B型の作業は、有年楢原の事業所で豆腐製造作業と受託ウエス加工をしています。

また、播州赤穂の駅ビル(プラット赤穂)の「ほのか工房」では、平成29年度スイーツ甲子園関西大会でグランプリを獲得した赤穂塩ラスクを始め、菓子パン、焼きドーナツ、ワッフル、大豆まるごと豆腐、野菜、漬け物等、赤穂精華園で生産している商品が揃っています。

是非一度ご来店ください。



▲ほのか工房

丹南精明園

〒669-2221 丹波篠山市西古佐700
TEL 079-594-2298 FAX 079-594-2271
E-mail info_tannan@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/seimeien/

障害者がその人らしく生き生きと『生活する場』・『働く場』・『ふれあう場』を提供





JR福知山線
「丹波大山」駅から徒歩10分
舞鶴若狭自動車道
「丹南篠山口」I.C.から車で10分

障害者支援施設

施設入所支援……	93名	就労継続支援B型……25名	
生活介護……	100名	短期入所……	4名

丹波篠山の自然に囲まれ、充実した生活をサポート

丹南精明園は、自然豊かな風土と城下町の歴史的町並みが残る「丹波篠山」の北西部に位置しています。

利用者は、さまざまなプログラムに参加され、また「明峰庵駅前店」「県立高校売店」「丹波丹（まごころ）ファーム」等で働かれたりと、日々充実した生活を送られています。



『生活する場』

施設入所・生活介護

隣接する県立公園への散策や、歯科衛生士による口腔衛生、また、理学療法士・作業療法士による指導・助言の下、生活リハビリの充実を図ったり、委託作業・農耕に取り組んだりと生活に潤いが持てるよう支援しています。

また、利用者の個々のニーズに対応するため、個別外出や文化教室、お菓子作りなどの活動プログラムをボランティアの協力を得て行っています。



▲お菓子作り



▲文化教室（読み書き計算）

『働く場』

就労継続支援B型

就労継続支援B型として丹波市北部に農地をお借りし、トマトをはじめとする新鮮野菜やいちごの栽培を行っている「丹波丹（まごころ）ファーム」の運営、特養や隣接する公園の除草などの清掃委託業務に取り組んでいます。

また、近隣で開催されるイベントに参加し、揚げ物や野菜などを販売することで作業工賃の向上に取り組んでいます。



▲いちごの収穫作業

『ふれあう場』イベントを通じて地域交流

地域交流

園祭や地元の各種イベントに参加し、交流を図っています。園祭では、地元のみなさんや中学生、高校生等とふれあい、またイベントには利用者と職員で構成する「よさこいサークル舞丹」が出演し、活動を通じて交流の場を広げています。



▲よさこいサークル「舞丹」

『地域で暮らす』

共同生活援助

丹波篠山市内６カ所のグループホームで、入居者の主体性を大切にしながら地域における安全、安心な生活をサポートしています。

その他の事業

- 日中一時支援
- 特定相談支援
- 短期入所
- 共同生活援助事業（グループホーム）
  「にじ」「だいち」「ハッピー」「そら」
  「ゆめ」「ホープ」

職員 Voice



支援員
室木 由裕

丹南精明園では、地域のボランティアの協力を得て、「お菓子クラブ」や「ペーパークラフト教室」といった活動プログラムを実施しています。これらは、利用者様の大きな楽しみとなっており、メリハリのある生活につながっています。また、介護予防機具を使用したリハビリや、歯科衛生士による口腔ケアを実施し、身体機能の維持や健康の増進に努めています。

三木精愛園

「共生社会」をめざす三木精愛園

〒673-0534 三木市緑が丘町本町2丁目3
TEL 0794-85-8791 FAX 0794-85-5420
E-mail info_miki@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/seiaien/



神戸電鉄「緑が丘」駅から徒歩10分



障害者支援施設

施設入所支援	74名
生活介護	95名
自立訓練（生活訓練）	6名
就労移行支援	6名
短期入所	4名

地域に密着したユニット型施設

三木精愛園は住宅街の一角にありますが、緑豊かな環境の中で、夏祭り等の地域交流事業を推進しています。

また、全室個室のユニット型新棟では、プライバシーに配慮された快適な生活空間を提供しています。



カレーハウス「moimoi」の運営

障害者の働く場づくりを目的にカレーハウス「moimoi」を運営しています。季節の野菜やフルーツをたっぷり使った健康的なカレーは地域の皆様の好評を得ています。

また、団体やグループ活動の会議や食事会の場として、地域の皆様にご利用いただける地域支援室も併設しています。



◀moimoi外観

日課活動の充実

日課活動の充実の１つとして、音楽療法とバランスボール教室があります。音楽に合わせて歌や楽器を演奏したり、大きなボールの上で跳ねたり転んだりして楽しく運動しています。



音楽療法▶

外出支援・地域交流活動への参加

買い物、昼食、ドライブ、あるいはスポーツ大会への参加等、利用者の希望に沿った外出を積極的に実施しています。

また、餅つき、運動会などの季節行事を開催し、施設での生活が豊かなものとなるよう努めています。



▲三木市障がい者ふれあいスポーツ大会

自閉症支援・生産活動への参加

作業棟「tonton工房」設置の環境的な強みを活かして自閉症の利用者の生産活動への参加を支援しています。

個々の特性に配慮しながら木工品作成などの作業に取り組む中で、コミュニケーション能力、社会性、ＱＯＬ（生活の質）等の向上を目指しています。



▲木工作業（tonton工房内）

地域との連携による就業支援の実施

障害者就業・生活支援センターでは、北播磨圏域での就職を希望する方、在職中の方、離職した方に就業と生活の両面から支援をします。訓練や職場実習が必要な方には事業所をあっせんし、就労能力の向上を目指します。

また、訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）、障害者専門職業紹介事業所、三木市障害者就労支援員等と連携し支援にあたります。



▲ボルトの穴あけ

職員 Voice



主事
三浦 永誉

三木精愛園は、知的障害者支援施設として、生活介護事業、自立訓練（生活訓練）事業、就労移行支援事業、地域支援事業、グループホームなど多岐にわたり事業を行っています。利用者様の高齢化・重度化が進んでいますが、職員の資格取得や研修参加などを通じて、より質の高いサービス提供ができるよう頑張っています。

その他の事業

- 日中一時支援
- 障害者就業・生活支援センター事業
- 訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援事業
- 障害者専門職業紹介事業
- 三木市障害者就労支援員　設置事業
- 相談支援
- 共同生活援助事業（グループホーム）
  「ひまわりの家」「えんどう豆の家」「そら豆の家」
  「ピーナッツの家」「ココナッツの家」「うぐいす豆の家」

出石精和園 ひまわりの森



可能性は無限大　地域の中で 共に歩みつづける ひまわりの森

ひまわりの森マスコットキャラクター
「じおまる」「エリンちゃん」

〒669-6545　美方郡香美町香住区森37
TEL 0796-36-4915　FAX 0796-20-3008

多機能型事業所ひまわりの森

〒669-6545　美方郡香美町香住区森37
TEL 0796-36-4915　FAX 0796-20-3008

生活介護……17名　　就労継続支援Ｂ型……23名

多機能型事業所笑顔の森　むらおか

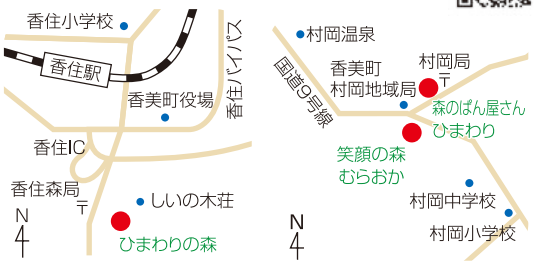
〒667-1311　美方郡香美町村岡区村岡181-1
TEL 0796-94-0244　FAX 0796-94-0244

生活介護……8名
就労継続支援Ｂ型……12名

森のぱん屋さん　ひまわり

〒667-1311　美方郡香美町村岡区村岡396(村岡中央公民館内)
TEL 0796-99-7355　FAX 0796-99-7355

E-mail　info_himawari@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/himawari/



JR山陰本線「香住駅」から
香美町町民バス利用
香美町町民バス「森郵便局」
下車　徒歩5分

JR山陰本線「八鹿駅」から
全但バスで1時間
北近畿豊岡自動車道
八鹿氷ノ山I. C. から車で40分

地域に根ざし、共に生きる拠点として

ひまわりの森は、日本海に面した香美町にあります。海に面した香住地区に加え、緑豊かな村岡・中山間地を有する小代地区の３地区からなる自然豊かな町です。ひまわりの森は、香美町における障害者の日中活動を支援する場として事業を展開しています。また、共同生活援助(グループホーム)も一体的に運営し、総合的な地域生活支援を実施しています。



▲ひまわりの森 外観



▲笑顔の森 外観

地域に愛されるパン屋さん

村岡地区に開設したパン屋では、利用者の皆さんが、パンの陳列やレジ打ち、ラベル作成、接客など、ご自分に合った業務に取り組まれ、生き生きと働かれています。

また、地元企業や公共機関などへの移動販売にも取り組んでいます。



▲森のぱん屋さん ひまわり

働く喜び・楽しさを

ひまわりの森・就労継続支援B型

贈答品用の箱折りやトレイへのスポンジ貼り、アルミ缶の回収とプレス作業、委託清掃などを行い、就労への知識と技術の取得に向けた支援を行っています。また、パンの販売を行っています。



▲スポンジ貼り



▲パン販売

心から笑顔に

ひまわりの森・生活介護

軽作業を行ったり、レクリエーション、外出、絵本の読み聞かせ、軽運動など、個々のニーズに応じた支援を行い、安定した日中生活を送っていただけるよう心掛けています。



▲ひな人形作り



▲ポリ作業

その他の事業

・共同生活援助事業（グループホーム）「レジデンスカスミA・B・C」
・日中一時支援事業

仲間と地域住民の笑顔が集まる場所

笑顔の森 むらおか
生活介護・就労継続支援B型

軽作業やパン販売、さをり織り製品の制作販売、アルミ缶の回収とプレス作業などを行っています。また、地域のボランティアや幼稚園などとの定期交流を行っています。



▲地元高校生と交流



▲さをり織り作業

職員 Voice



支援員
山本 容子

ひまわりの森では、平成31年2月から従たる事業所としていた「村岡ブランチ」を単独事業所「笑顔の森むらおか」として生活介護、就労継続支援B型の事業所をスタートさせました。利用者様も環境が変わり今までにない自分の力を発揮されている方もおられます。職員も今まで以上に利用者様に寄り添いこれからのいろいろな可能性を期待しています。

清水が丘学園

こどもたちが憩い 心の安らぎ 遊ぶ楽しさ
学ぶ仲間を見つける　陽だまりの広場

〒674-0074　明石市魚住町清水2744
TEL 078-943-0501　FAX 078-943-6598
http://www.hwc.or.jp/shimizugaoka/



○JR「土山」駅から徒歩30分・タクシー10分
○第二神明道路「明石西」I.C.から車で5分
○TACOバス清水西ルート「JR土山駅南口」から「清水ポプラ公園」・11分
「清水ポプラ公園」から「学園」まで・徒歩12分

児童心理治療施設

入所…… 50名　　通所 …… 20名



こどもの心理治療を行う施設 ～新たな役割と機能の充実をめざして～

全国的にも数少ないこどもの心理治療施設で、明石市西部の緑豊かな自然の中にあります。学園は、児童精神医学、心理臨床、児童福祉、教育の各専門スタッフが連携し、悩みを抱え、行き詰まったり、追い詰められたこどもや家族等への総合的な援助を図っています。

援助の方法として、入所・通所・外来相談があります。

外来・電話相談

外来・電話相談窓口を設け、心理治療士が不登校、いじめ等による悩みや不安を持つこどもやご家族への相談を行っています。

また、こどもの相談担当者とご家族の相談担当者を決めて、並行したカウンセリングやセラピーを行っています。こどもが来園しにくい場合には、ご家族のみの相談も行っています。



▲プレイルーム

人材育成

県下の大学と連携し、年間を通して臨床心理士をめざす大学院生の心理臨床研修や、社会福祉士をめざす大学生の実習受入を積極的に行っています。

講師派遣等

学校や教育委員会、児童養護施設等からの要請により、講演会への講師派遣やケースカンファレンスの助言者として、心理治療士等を派遣しています。

職員 Voice



心理治療士
木村　望

清水が丘学園では、複雑な事情を抱えたこどもたちに対して各専門スタッフが連携しながら総合的な援助をおこなっています。私は心理治療士として、プレイセラピーやカウンセリングなど心理面からの治療や支援をしています。さまざまな問題を抱えたこどもたちへの支援は困難ですが、関わりの中で徐々に成長していくこどもと歩みを共にすることができるのはとても貴重な体験だと感じます。

学園祭・お楽しみ会等各種行事

学園祭を開催し、ステージ発表や模擬店を通じて地域の方と交流します。また、野球やバレーボール、iPad、園芸活動などさまざまな活動や就労体験学習を実施し、幅広い支援を行っています。



▲社会体験学習



▲そうめん流し

公開講座

こどもに関わる今日的問題を取り上げ、講演やフォーラム、現場からの報告などを行い、小中高校教員、行政職員、施設職員、臨床心理士、学生等の研修の機会としています。

平成30年度は「子どものこころと育ちを考える」をテーマに実施しました。



▲公開講座

児童心理臨床セミナー

精神科医師や大学の教授等を招いての講義や、小中高校教員、施設職員等による事例研究を行い、問題解決の方途を検討するとともに、参加者の研修を行っています。



▲セミナーの様子

家族療法

学園に来られているひきこもりや不登校のこどもとそのご家族に、宿泊や面接等を通じて心の援助を行っています。また、被虐待児童の家族再生に力を入れています。



▲家族療法棟

こども発達支援センター

ひとりひとりの発達に寄り添う支援

～ともに遊ぼう　考えよう　みんなの笑顔のために～

〒674-0074　明石市魚住町清水2744
TEL 078-949-0902　FAX 078-943-3830
http://www.hwc.or.jp/kodomohattatsu/

アクセスは42ページをご覧下さい





地域と連携　早期支援につながる早期診断

発達障害を早期に診断し、早期支援につなぐために、小児科医と児童精神科医による診療体制と心理アセスメント、作業療法、言語療法、保育による療育機能を有し、診断・診療、療育を一体的に提供し支援します。センターでの診療の他、研修・出張や派遣による支援、地域の保健・医療・福祉・教育など関係機関と連携してニーズに応じた細やかな支援ができるように努めます。

診療と療育

乳幼児からおおむね１５歳までを対象とし、診断・検査・投薬・リハビリテーションを実施します。遊びや療育の場での行動観察に基づき医師が総合的に診断を行い、こどもの特性に基づいた支援方法を家族とともに考え、継続的な支援につながるように地域の支援者と連携します。



▲言語療法



▲作業療法

研修

こどもが成長発達する過程で携わる保健師や保育士、支援の過程で携わる専門職の心理士、言語聴覚士、作業療法士等を対象に、支援者のスキルアップを目的とした研修を実施します。講義形式の研修では、発達に関わるさまざまなテーマでの講演を行い、実地研修では当センターの療育を見学後、療法士とともに関わり方を考えます。平成３０年度の第２回スキルアップ研修では、児童精神科医の門眞一郎先生を講師にお招きし、「強度行動障害を考える」と「ソーシャルスキルの支援」をテーマに、ご講演をいただきました。



▲平成30年度第2回スキルアップ研修

出張発達健康相談

当センターの専門職が要望のある市町に出向きます。市町の保健師や保育士等の市町の支援者が同席のうえ発達相談を行います。



出張発達健康相談▶

派遣発達支援

市町の発達支援（相談）事業を実施する際、会議への参画や発達障害への支援の方法（検討会や保育の実際）の助言等のために、当センターの専門職（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士等）を派遣します。

教育連携

県立特別支援教育センター、県や市町の教育委員会等の教育機関と連携します。幼・小・中や特別支援学校の教諭を対象に発達障害に関する研修や、情報交流を行い、互いの理解を深めます。



▲県立特別支援学校初任者研修会

職員 Voice



言語聴覚士
吉田 絢香

こども発達支援センターでは、さまざまな職種が連携しながら、特性や障害を総合的に評価し、療育や具体的な支援の方法を考え提供しています。また、研修や出張発達健康相談、派遣発達支援などの事業を通して、地域の支援者の方々と共に連携し生活しやすい環境づくりのサポートをしています。

こども達や親御さん１人ひとりの悩みに寄り添えるように日々頑張っています。

情報提供等

発達障害にかかる医療機関・研修会・各市町の支援体制等の情報収集、情報の一元管理、情報提供を行います。また、保健師や保育士等、各市町の支援者への相談・助言、家族支援を行います。

高齢福祉サービス等

特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）	老人福祉法第5条の3、同法第20条の5及び介護保険法第8条の24、同法第86条に基づく施設で、要介護状態にある65歳以上（特定疾患の場合は40歳以上）の者であって、身体上又は精神上著しい障害があるために常時介護を必要とし、かつ、居宅において介護を受けることが困難な利用者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行います。
養護老人ホーム	老人福祉法第5条の3、第20条の4に基づく施設で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者に対し養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の日常生活上の世話を行います。
短期入所生活介護	在宅の要介護高齢者等に特別養護老人ホームに短期入所してもらい、入浴・排せつ・食事等の介護その他日常生活上の世話と機能訓練を行います。
居宅介護支援	介護支援専門員（ケアマネジャー）が、地域の要介護高齢者等からの相談に応じ、居宅介護サービス計画を作成し、その計画に基づいた適切な介護サービスが提供できるよう、事業者等との連絡調整や便宜の提供を行います。
通所介護 認知症対応型通所介護（デイサービス）	在宅の要介護高齢者等にデイサービスセンターに通ってきてもらい（送迎し）、入浴、食事の提供とその介護、生活等についての相談・助言、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を提供し、利用者の心身機能の維持とともに、社会的孤立感の解消や家族の身体的・精神的負担を軽減します。
訪問介護（ホームヘルプサービス）	介護福祉士等の訪問介護員が、利用者の自宅を訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言等の必要な日常生活上の世話を行います。
訪問看護	利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、保健師・看護師が利用者の自宅を訪問してその療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指すことを目的とします。
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	介護が必要な認知症の高齢者が少人数で職員と共同で家事などを行い、ゆったりとした暮らしを提供します。
特定施設入居者生活介護	介護保険法第8条の11に基づくサービスで、養護老人ホーム等に入居している要介護者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行います。
在宅介護支援センター	地域の高齢者又はその家族の在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、そのニーズに対応した各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるように関係行政機関や事業所と連絡調整を行います。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供します。訪問介護員や看護師などの連携による介護と看護の一体的なサービスを受けることができます。



▲たじま荘



▲くにうみの里

朝陽ケ丘荘

認知症のことなら朝陽ケ丘荘へ

〒679-5331　佐用郡佐用町平福138-1
TEL 0790-83-2008　FAX 0790-83-2035
E-mail　info_asahi@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/asahigaoka/



智頭急行「平福」駅から徒歩10分
中国自動車道「佐用」I.C.から車で7分

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設　入所 …… 110名
短期入所生活介護 ……10名
認知症対応型通所介護 ……12名

一人ひとりの生活を豊かに、その人らしさを応援したい



因幡街道の宿場町として栄えた風情あふれる街並みが印象の平福地区に位置し、連郭式山城として有名な利神城の城跡を望む緑深い自然に囲まれた静かな環境の中にあります。
「その人らしさを応援したい」をテーマに利用者本位のサービスの提供を日々実践しています。

季節を感じる支援



▲栗ひろい

朝陽ケ丘荘では、利用者や家族の希望を伺い「夢を叶えるプロジェクト」として、季節を感じる外出や行事を行っています。畑で取れた野菜を収穫する等、生きがいをもって潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



▲チューリップ園へ外出

可能性を見い出し、拡げる

利用者個々の健康維持、楽しみづくり、生きがいづくりとして、さまざまなサービスを提供しています。
特に西播磨総合リハビリテーションセンターとの連携のもと、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、音楽療法、園芸療法を行い身体機能維持を図るとともに、地元県立高校との交流も楽しみの一つとなっています。



▲地元高校から出張ファッションショー

地域に密着したサービスの提供

地域唯一の認知症対応型通所介護事業や定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を行い支援が必要になっても住み慣れた地域の中で暮らし続けられるようにサポートしています。
地域に密着したサービス機能を充実させることを目指すとともに、「認知症カフェ」の開催運営や、佐用町と連携して認知症サポーター養成講座の開催、認知症啓発活動の RUN 伴へ参加する等、施設が持つ機能や人材を活用し、広く地域へ貢献しています。



▲認知症カフェ（ひだまり）



▲平成30年10月から「定期巡回サービス」開始

職員 Voice



支援員
平岡 達哉

朝陽ケ丘荘では、利用者本位のサービス提供を日々実践しています。主な例としては、利用者様との会話の中から、また訪れてみたい場所を聞き取り外出支援につなげた取組です。
私も付添で利用者様の思い出の温泉地を訪れ、外食も楽しまれている姿を見て仕事のやりがいにつながるとともに、さまざまな職種の職員が関わることで実現できた支援であったため、他職種の連携の大切さを実感することができました。
これからも利用者様に寄り添い、利用者様に喜ばれる支援を実現できるよう取り組んでいきます。

その他の事業

・居宅介護支援　・介護予防支援　・介護予防短期入所生活介護
・障害者短期入居　・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

たじま荘

あなたの「自分らしい生き方」を全室個室ユニットときめ細やかなケアで実現するたじま荘

〒669-5365　豊岡市日高町十戸455
TEL 0796-44-1730　FAX 0796-43-4333
E-mail　info_tajima@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/tajima/



※職員が癒し犬まるこをデザインした服装でアピールした求人チラシから



JR山陰本線「江原」駅から全但バス利用
全但バス「西中前」下車　徒歩10分
北近畿豊岡自動車道「日高神鍋高原」I.C.から北西へ車で10分

顔が見える、寄り添う介護、共に暮らす施設づくり

兵庫県北部、神鍋高原の裾野に位置し、豊かな自然に囲まれ、移りゆく四季を感じながらやすらぎと潤いのある生活を送っていただけます。

また、居室には使い慣れた家具や思い出の写真などを持ち込んでいただき、家庭的なぬくもりのある生活空間を作り出しています。

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設 入所 …… 110名
短期入所生活介護 …… 10名
認知症対応型通所介護 …… 10名

みんなで楽しく　穏やかに

ユニットケアを推進し、利用者・ご家族の意向に添って「夢を叶えるプロジェクト」の実現に向けて取り組んでいます。

またターミナルケアを充実させ、最期までその人らしく、尊厳ある生活を送っていただけるよう支援しています。


▲希望外出の様子


▲ユニット調理

こころのまんま自分らしく　今あるしあわせを大切に

認知症対応型通所介護事業所　通称「山ぼうし」

1日10人定員の少人数のデイサービスです。神鍋の山々に囲まれた自然豊かな環境のもと、認知症の方々一人ひとりにきめ細かく対応しています。

四季を通じて園芸、ドライブ、おやつ調理、施設行事の参加などで充実したサービスを提供しています。


▲園芸の様子

職員 Voice


支援員
上田 良子

たじま荘では、各ユニットで利用者様と野菜を育て、採れた野菜でユニット調理をしたり、季節にあった行事を行うなど、利用者様の笑顔でいっぱいです。平成30年度から「ノーリフト」を掲げ、リフトやフレックスボードなどの福祉用具を導入し、安全・安心なケアに取り組んでいます。これからも福祉用具のスペシャリストになるべく技術向上に努めていきます。

地域との絆を大切に

地域交流会、盆踊り大会、保育園との交流会、あるいは実習生やボランティアの受入などを通じて地域とのつながりを大切にしています。

また、毎週木曜日に開店している「まるこカフェ」は地域住民にも開放しており、加えて、オープンセミナーや認知症カフェ（にじいろカフェ）を開催するなど、住民の生きがいづくりに貢献しています。


▲地域交流会



▲癒し犬まるこがお出迎え

その他の事業

- 介護予防短期入所生活介護
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 支え合い通所介護
- 豊岡市家族介護支援
- 障害者短期入所

ことぶき苑

地域にねざし
地域にはばたく　ことぶき苑

〒669-5305　豊岡市日高町祢布1304
TEL 0796-42-0430　FAX 0796-42-0517
E-mail　info_tajima@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/tajima/





JR山陰本線「江原」駅から西へ徒歩20分
北近畿豊岡自動車道「日高神鍋高原」I.C.から東へ車で1分

養護老人ホーム　入所 ……50名
認知症対応型通所介護 ……12名

要介護から就労まで幅広い支援

ことぶき苑は、兵庫県北部の緑豊かな自然に囲まれた豊岡市日高町に位置し、要介護者の支援から自立者の就労支援まで幅広い支援を行っています。また、居宅介護支援、訪問介護、認知症対応型通所介護（通称「かんらん舎」）等を展開し、地域の皆様が安心して老後を迎えることができるよう、地域福祉の向上をめざしています。



元気に楽しく仲睦まじく

養護老人ホーム

自立高齢者から要介護者まで幅広い支援を行っています。要介護状態となった場合でも、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護のサービスを提供し、自立した日常生活を営むことができるよう支援します。



▲手芸（七夕飾り）

笑顔で安心した生活を

訪問介護

私たちヘルパーはニーズに基づいた支援を行い、ご満足いただけるサービスの提供を心がけています。住み慣れた自宅で安心した生活が送れるよう、研修等を行いサービスの質の向上に努めています。



▲訪問の様子

自宅での生活を支えて

居宅介護支援

介護が必要になっても、住み慣れた自宅で安心して生活ができるように、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者・家族の意向を伺い、必要なサービスを調整して、在宅での生活をサポートします。さらに地域サポート施設として県から認定を受け、生活援助員が独り暮らしの高齢者の見守り等を行っています。



▲訪問の様子

家庭的な雰囲気を目指して

認知症対応型通所介護（通称かんらん舎）

地域に寄り添い、知人や友人に会いに行くような感覚で、馴染みの暮らしを継続します。また、ゆったり・のんびりと過ごしていただけるような家庭的な雰囲気をめざしています。



▲朝のリハビリ体操

職員 Voice



支援員
西村 尚司

ことぶき苑は養護老人ホームですが、地域に向けて居宅介護支援、訪問介護、認知症対応型通所介護、生活支援事業、障害者・児に対する相談支援事業を実施しています。そして、平成30年9月から但馬初となる定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を開設し、24時間対応可能な訪問サービスを展開するなど、地域と共に歩み、信頼される施設をめざして取り組んでいます。

その他の事業

- 特定施設入居者生活介護
- 介護予防支援
- 障害者重度訪問
- 介護予防特定施設入居者生活介護
- 日常生活支援総合事業（訪問型サービス）
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 生活管理指導短期宿泊事業
- 障害者居宅介護
- 相談支援事業
- 地域サポート施設
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

あわじ荘

利用者や地域から信頼され、選ばれる施設づくりを目指します

〒656-1727 淡路市野島貴船229-1
TEL 0799-82-1950 FAX 0799-82-1754

特別養護老人ホーム

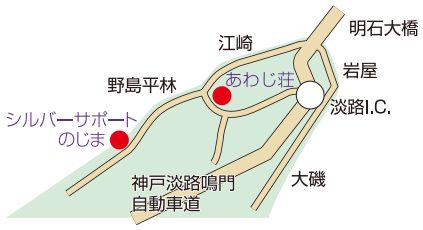
介護老人福祉施設 入所 …… 110名
短期入所生活介護 ……10名
認知症対応型通所介護 ……12名

シルバーサポートのじま

〒656-1721 淡路市野島蟇浦681-2
TEL 0799-80-2700 FAX 0799-80-2702

居宅介護支援
通所介護……18名

E-mail info_awaji@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/awaji/



神戸淡路鳴門自動車道「淡路」I.C.から車で10分

大切にしたい ふるさと淡路!

淡路島の北部に位置するあわじ荘は、播磨灘の水平線を見下ろす雄大な自然の中にあります。『「自由」「やすらぎ」「ふれあい」あなたらしさを応援します』を運営理念に、いつまでも住み慣れた大好きな淡路で暮らし続けることができるよう、介護予防事業から尊厳を重視した施設でのターミナルケアまで、幅広いサービスを展開しながら地域福祉の向上を推進します。

笑顔の積み重ね

認知症対応型通所介護事業所

地域密着型サービスの認知症対応型通所介護・通称「ほがらかデイ」では、今日一日をかけがえのない時間として捉え、利用者の思いを大切にしながら、部屋から笑いがあふれるような支援をめざしています。

また、家族の思いを尊重し、ともに健やかに過ごしていただけるよう取り組んでいます。



▲一人ひとりに寄り添った支援

好みの活動から生きがいを

特別養護老人ホーム

一人ひとりを尊重し、潤いのある生活を送っていただけるよう個別ニーズに沿った外出支援や専門職による機能訓練や園芸療法、アロマオイルを使用したハンドケアの実施など各種活動を通じて利用者本位のサービスを提供しています。

また、利用者の特技や趣味を活かした生きがいのある豊かな生活の支援をめざしています。



▲園芸療法



▲希望外出の様子

～地域で元気に暮らす～を応援

シルバーサポートのじま

● リハビリデイスマイル

デイサービスでは各種リハビリ機器を取り揃えています。「体力作りをサポートします」を目的にマシントレーニングを実践し、住み慣れた在宅生活の継続を支援しています。

また、入浴支援など生活支援を主体としたサービスの提供や生きがいづくりを目的とした趣味や特技を生かした活動を通じて、その人らしい日常生活をお手伝いします。



▲予防に向けた訓練



▲訪問時の様子



▲ぷらっとカフェ

● 居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険に関する相談や質問に応じます。安心して地域で暮らすことができるよう、必要なサービス調整を行います。

地域の方が気軽に立ち寄って集える居場所として「ぷらっとカフェ」を定期的に開催しています。認知症の方や地域の方が何でも話し合える学びの場所でもあり、専門職による介護や健康に関する相談を通し、「地域で支えあい自分らしく生きる」仕組みづくりを推進していきます。

職員 Voice



支援員
馬部 洋一

あわじ荘は、瀬戸内海を臨む丘の上にあります。四季折々の花が咲き、季節毎の海の景色の移り変わりと真っ赤に燃える夕日を間近に見ることができます。利用者様も海を眺め、花を愛で、風を感じる等、恵み豊かな環境の中で悠々とした時間を過ごされています。利用者様一人ひとりを尊重し、その人らしい生活が送れるよう、利用者様の傍で支える支援を心掛けています。

その他の事業

- 介護予防認知症対応型通所介護
- 介護予防支援
- 日常生活支援総合事業（通所型サービス）
- 介護予防短期入所
- 障害者短期入所

丹寿荘

地域貢献・地域交流をとおして丹波圏域の高齢者福祉をリードする総合福祉施設



〒669-4341　丹波市市島町上竹田2336-1
TEL 0795-85-3251　FAX 0795-85-0075
E-mail　tanjuso@eagle.ocn.ne.jp

特別養護老人ホーム

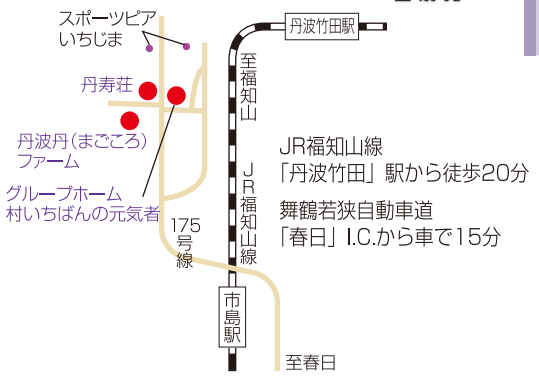
介護老人福祉施設 入所 …… 90名
短期入所生活介護 …… 10名
通所介護 …… 18名

グループホーム村いちばんの元気者

〒669-4341　丹波市市島町上竹田2322-1
TEL 0795-85-6301　FAX 0795-85-6302
E-mail　muraichi@hwc.or.jp

認知症対応型共同生活介護 …… 18名

http://www.hwc.or.jp/tanju/



JR福知山線
「丹波竹田」駅から徒歩20分
舞鶴若狭自動車道
「春日」I.C.から車で15分

介護予防からターミナルまで
～地域に開かれ、地域とともに歩む施設～

丹寿荘は、兵庫県の中央東端、京都府に接し、丹波市の自然豊かな風土と里山に囲まれた静かな環境の中にあります。丹寿荘では、利用者本位で質の高いサービス提供や当施設が持つ高齢者支援に関するノウハウを地域に発信するなど、地域に愛され、地域に開かれた施設運営を行っています。



一人ひとりの個性を尊重し、潤いと生きがいのある暮らしの提供

特別養護老人ホーム

全室個室のユニット型施設として、利用者一人ひとりの主体性や生活のリズムを尊重し、家庭的な雰囲気の中での生活を提供します。

また、外出や安全・安心で快適な入浴、食事ケア、口腔ケア等の個別ケアを実践するとともに、ユニット毎に趣向を凝らした取組を行っています。



買い物外出▶

健やかで自立した在宅生活への支援

デイサービスセンター

レクリエーション（囲碁ボール他）・手工芸・音楽療法・野菜づくり等、利用者の好みに合わせた「いきいきクラブ」やボランティアの活動訪問を通して、楽しいひとときを過ごしていただいています。

また、充実したリハビリ機器を使用しての機能訓練を理学療法士の指導のもとに行うなど、健やかで充実した在宅生活が送れるよう支援しています。



▲デイサービス「音楽療法」

笑顔と寄り添うケアによる「五つの大切」の実践

グループホーム　村いちばんの元気者

地域密着型サービス事業として、認知症高齢者の方に輝きを持った暮らしをしていただくため、

① 家庭的な暮らし
② その人らしさ
③ 家族との絆
④ 地域とのつながり
⑤ 安全・安心

の「五つの大切」を実践しています。



▲リハビリ体操

職員 Voice



支援員
山下 千寿

私の自慢は、一緒に働く仲間です。看護師、介護職員、運転員と職種はさまざまですが、皆が同じ方向に向かっています。それぞれに得意なことがあり、知識や経験が豊富でスキルも高いプロ集団です。

皆が当たり前に助け合い、情報共有し合い、仲間を認め合っています。そんなレベルの高い社会人集団の中で、仲間を信じて働けることに感謝しています。

その他の事業

- 居宅介護支援
- 介護予防支援
- 日常生活支援総合事業（通所型サービスA）
- 介護予防短期入所生活介護
- 介護予防認知症対応型共同生活介護
- 在宅介護支援センター
- 障害者短期入所
- 配食サービス事業
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

くにうみの里

地域に愛され、信頼される
施設づくりを目指します

〒656-0013 洲本市下加茂1丁目6-6
TEL 0799-22-3344 FAX 0799-22-1188
E-mail info_kuniuminosato@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/kuniumi/
facebook https://www.facebook.com/kuniuminosato/



神戸淡路鳴門自動車道「淡路島中央スマート」I.C.、「洲本」I.C.から車で10分
洲本バスセンターから車で5分、
淡路交通バス「下加茂」バス停下車

特別養護老人ホーム

介護老人福祉施設　入所 …… 90名
短期入所生活介護 …… 10名
認知症対応型通所介護 …… 12名
居宅介護支援

“つながろう”人と地域とくにうみの里

旧県立淡路病院跡地という立地条件を活かし、「コミュニティデザインの手法」を取り入れ、地域交流や地域貢献を積極的にすすめ、地域に開かれた施設づくりを行っています。また、「ひょうご県民ユニバーサル施設（県民参加型特定施設）」に認定され、誰にでも快適に利用していただける配慮を心掛けています。



彩豊かな生活を

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

平成 28 年 11 月の開設時からコミュニティデザインの手法を取り入れ、くにうみ音楽会、くにうみ美術館、寺子屋くにうみ、ワークショップ等のさまざまな取組を行い、多くの方に来所いただき、地域の交流拠点として認知され始めました。

また、利用者・職員ともに負担が少ない安全・安心なケアが提供できるよう「持ち上げない」「抱え上げない」等のノーリフティングケアにも取り組んでいます。


▲くにうみ音楽会


▲子ども獅子舞

“あったかい”気持ちで暮らしをサポート

居宅介護支援　あったかプランくにうみ

住み慣れた地域や自宅で、安心して暮らし続けられるように、介護を必要とする方やご家族からのご相談を承ります。お体の状態や暮らしの中で困っていること等、お話を伺い、介護保険サービス等を利用できるように、関係機関との連絡や調整をします。

その他の事業

・介護予防支援
・介護予防短期入所
・介護予防認知症対応型通所介護

笑顔で過ごすひとときを一緒に!

認知症対応型通所介護　デイサービスくにうみ

デイサービスくにうみでは、「住み慣れた地域や自宅でいつまでも暮らしていきたい」この想いを大切に支援しています。季節を感じられる外出行事や、利用者一人ひとりの興味・趣味にあった活動を個別で提供します。また、“一日一笑”を合い言葉に笑顔で過ごす時間を作っていきます。




▲調理風景


▲余暇活動

職員 Voice


支援員
溝川 希美

くにうみの里は、開設当初から音楽会、ワークショップの開催や地域の方の作品を展示するなど、どなたでも気軽に施設を訪れることができる仕組みづくりを行っています。

また、『ノーリフティングケア』という利用者様、職員双方にとって安全で安心なケアをめざす取組も実施しています。

今後も多くの方から愛されるような施設づくり・仕組みづくりを行っていきたいと思います。

洲本市五色健康福祉総合センター

相談から支援まで地域を結ぶ 高齢者福祉サービス拠点



〒656-1331 洲本市五色町都志大日707
TEL 0799-33-0503 FAX 0799-33-0318
E-mail go_sumoto@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/sumoto/



淡路交通バス西浦線「五色バスセンター」 下車徒歩30分

つながる“きずな”広がる“笑顔” あなたらしさのお手伝い

瀬戸内海を見渡せる海と緑に囲まれた自然豊かな環境にあります。平成21年4月から、洲本市からの指定管理を受け、「つながる“きずな”広がる“笑顔”あなたらしさのお手伝い」をセンター理念として運営を行っています。

特別養護老人ホーム 五色・サルビアホール

介護老人福祉施設 入所 …… 60名
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 20名
短期入所生活介護 …… 10名

五色ホームヘルパーステーション

訪問介護

五色デイサービスセンター

地域密着型通所介護 …… 18名

五色介護支援センター

居宅介護支援
介護予防支援

五色グループホーム

認知症対応型共同生活介護 …… 9名
生活支援ハウス …… 1名

グループホームひろいしの里

〒656-1333 洲本市五色町広石上113
TEL 0799-35-1201 FAX 0799-35-1201
認知症対応型共同生活介護 …… 18名

職員 Voice



支援員
勢 功太郎

洲本市五色健康福祉総合センターは、入所・通所・訪問など、相談から支援までさまざまなサービスを提供し、地域に根ざしたサービスを行っています。8月にはセンター行事として、利用者様、家族様、地域の方が一緒に楽しめる地域交流納涼祭を開催しています。

私のユニットでは、短期入所の利用者様が多く、皆様が一緒に楽しんでいただけるようレクリエーションを行ったり、利用者様の意思を尊重し、想いに沿った生活支援を行っています。例えば、利用者様と相談し、馴染みのあるところへの外出支援なども行っており、その人らしさが感じられるような生活支援をめざしています。今後も利用者様の想いに寄り添い、言葉を傾聴し、笑顔で生活していただけるよう支援していきます。

笑顔が広がる支援をめざして

五色・サルビアホール

地域とのつながりを大切に、個別支援の実践を推進しています。希望の外出や特性を活かした活動などを通して、楽しみながらその人らしさが蘇る支援をめざしています。



▲地域のお祭り見学



▲お花見



▲流しそうめん

楽しみのひとときをともに

五色デイサービスセンター

地域の友人や懐かしい仲間と趣味の活動などを通して、楽しみのひとときを提供しています。また、一人ひとりの身体機能に合わせたリハビリや入浴支援で、心身のリフレッシュができるよう、その人に合ったサービスを提供しています。



▲手作りおやつ



▲文化祭作品づくり

地域カフェ“千客万来”

毎週水曜日「都志カフェいっぷく」を開店し、ホッといっぷくできるつどいの場として、たくさんの地域の方々に集まっていただいています。また、毎月１回ミニ講座も開催しています。



▲地域カフェで集いのひととき

その他の事業

- 介護予防短期入所生活介護
- 介護予防支援
- 介護予防認知症対応型共同生活介護
- 介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）
- 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス）
- 障害者居宅介護

住み慣れた地域で自分らしい生活を

五色ホームヘルパーステーション

介護の必要な高齢者や障害者のニーズに応えられるよう、ホームヘルパーが自宅を訪問し、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう支援します。



▲訪問先の掃除



▲訪問先の調理

生きがいのある生活

五色グループホーム

五色健康道場に隣接する1ユニット9名の家庭的な生活環境で、認知症になっても役割や生き甲斐のある生活を応援します。



▲芋の苗付け



▲ボーイスカウトとの交流

地域で暮らす

五色介護支援センター（居宅介護支援）

要介護・要支援の認定を受けられた方に、適切なサービスが提供されるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）が保健・医療・福祉等の関係機関との調整を図りながら、ケアプランを作成します。



▲仕事風景

たくさんの笑顔と安心できる暮らしをめざして

グループホーム ひろいしの里

住み慣れたこの町でお互いを尊重し「なじみの関係」をつくり、家族や地域とのつながりを大切にしながら支援を行っています。

家庭的で落ち着いた雰囲気の中で今までの経験を生かし、毎日の食事づくりや買い物、掃除、野菜の栽培などを行っています。



▲焼きいも大会



生け花▶

立雲の郷

健康づくり・介護予防を先導する立雲の郷

〒669-5252 朝来市和田山町竹田2063-3
TEL 079-674-0088 FAX 079-674-0089
E-mail info_ritsuun@hwc.or.jp
http://www.hwc.or.jp/ritsuunnosato/





JR播但線「竹田」駅下車　徒歩約15分
北近畿豊岡道・播但連絡道「和田山」I.C.から約5分

とらふす道場（健康プラザ）	健康づくり・介護予防
訪問看護ステーションなでしこ	訪問看護
デイサービスあすなろ	認知症対応型通所介護 12名
グループホームたけだ遊友館	認知症対応型共同生活介護 18名
デイサービスたけだ遊友館	認知症対応型通所介護 3名
立雲の郷居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業

地域に根ざした『健康・福祉のまちづくり』の推進拠点

朝来市の『健康・福祉のまちづくり』の推進拠点として、朝来市とのパートナーシップのもと高齢者・障害者を中心に広く市民を対象に健康・福祉に関する幅広いサービスを提供しています。また、その活動成果やノウハウを地域のさまざまな資源と連携・協働させ、市民の健康・福祉の増進に寄与しています。

専門職員の指導による気軽で楽しい健康づくり

厚生労働大臣認定　健康増進施設　とらふす道場

朝来市内で唯一、体育指導員を配置した運動施設であり、個々のニーズに応じた運動方法やプログラムを提供しています。また、朝来市との連携により介護予防教室や特定保健指導（メタボリックシンドローム予防等）のための各種運動教室を開催しています。

主な施設　トレーニング室、スタジオ、研修室、和室
休 館 日　毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、12/29～1/3
利用時間　平日 10:00～21:00
土曜・日曜・祝日 10:00～18:00


▲運動教室（スタジオ）

気持ちに寄り添う支援

デイサービスあすなろ

認知症の方が、住み慣れた家で家族とともに暮らし続けられるよう支援しています。その人らしさを大切にしたプログラムを実施するとともに、認知症の改善・進行予防をめざして、脳リハ練習帳を使用した訓練を取り入れています。また、とらふす道場を利用した転倒予防のための体操を行っています。


▲タオル体操

職員 Voice


支援員
松田 紗織

立雲の郷は健康・福祉の拠点として、幅広いサービスを提供している施設です。地域に密着した行事が多くあり、私の担当しているグループホームでは地域住民の方を招いての餅つき、そうめん流し、こども園の園児を招いての七夕交流会、クリスマス会などの行事が特に喜ばれています。秋祭りの時期には大きな「やっさ」が敷地内にやってきて皆さんで記念撮影をするのが毎年恒例となっています。

24時間対応で利用者の安心を支えます

訪問看護ステーションなでしこ

訪問看護
在宅で生活する医療処置が必要な高齢者等に対し、看護師が自宅を訪問し、健康管理や傷の処置などを行います。
また、日常生活上の介護方法の指導や相談、そして何より24時間対応により、利用者とご家族の安心を支えています。

訪問リハビリ
住み慣れた家で、元気に自分らしく過ごせるよう、理学療法士が自宅を訪問し、リハビリを実施しています。


▲訪問看護の様子


▲リハビリの様子

住み慣れたまちで自分らしく暮らそう

グループホームたけだ遊友館

ご家族との絆を大切にし、持てる力を活かして、その人らしい生活ができるよう支援しています。
また、空いている部屋を利用して短期間入居のご利用が可能であり、共用スペースを活用して少人数のデイサービスも行っています。


▲施設 外観


▲地域交流 竹田秋祭り

その人らしい在宅生活を支援

立雲の郷居宅介護支援事業所

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者とご家族のご意見を伺いながら丁寧に介護保険利用のために必要な手続きやサポートを行います。

その他の事業

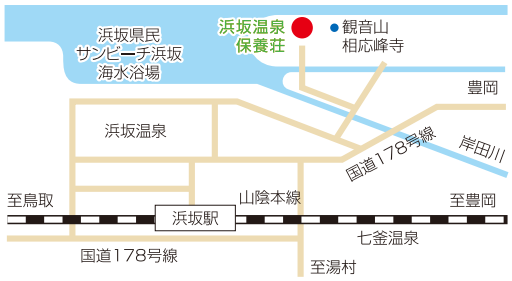
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 介護予防訪問看護
- 介護予防認知症対応型共同生活介護
- 短期利用共同生活介護
- 介護予防支援

浜坂温泉保養荘

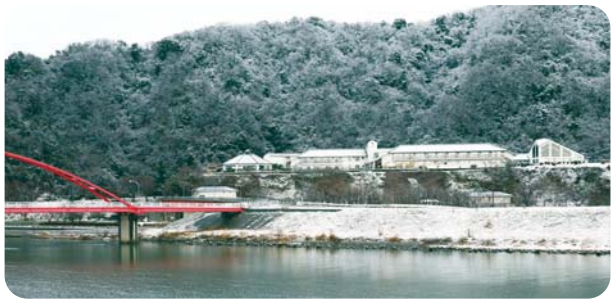
くつろぎの宿　～癒しのひとときを提供します～



〒669-6702　美方郡新温泉町浜坂775
TEL 0796-82-3645　FAX 0796-82-3647
E-mail　info_hamasaka@hwc.or.jp
http://www.hamasaka-ni.com/



JR山陰本線「浜坂」駅下車　車で10分
特急バスで大阪･神戸から約4時間



▲施設外観写真

職員 Voice



調理師
大谷 修司

ここ浜坂で水揚げされた新鮮な海の幸のほか、11月初旬からは冬の味覚王の「松葉がに」、また、このたび日本農業遺産に認定された美方郡産の但馬牛など、四季折々の豊富な食材を使った旬のメニューで皆様のお越しをお待ちしておりますので、「保養荘こだわりの食」をどうぞご堪能くださいませ。

その他の事業

・要援護者・介護者の集い（機能訓練事業）　・感謝デー

バリアフリー対応「すべての人」にやさしい宿

障害者やその家族をはじめ、誰もが気軽に宿泊・休憩できる施設です。館内にはスロープや手すりが整備され、車いすのまま入室できる部屋やリフター付きの介助浴室等があり、障害者のみならず高齢者にもやさしいバリアフリー設計になっています。卓球等スポーツのできるトレーニング棟や自炊ができる台所付きの長期滞在棟4室（湯治の宿「小春日」）もあります。



▲介助浴室

真のくつろぎを　浜坂温泉

国民温泉保養地に指定されている「浜坂温泉」にある当荘の温泉は、源泉地から配湯されており湯量が豊富です。浴用の適応症は、リウマチ性疾患・運動器障害・創傷・慢性疾患などに効能がある自慢の温泉です。また、世界ジオパークネットワークに認定された山陰海岸ジオパーク内に位置しており、雄大な大自然の中で心身ともに癒し、リフレッシュしていただけます。

施設概要　・チェックイン…午後3時　チェックアウト…午前10時
・駐車場…無料（30台）

施設設備　・研修室（2室）・トレーニング室・カラオケルーム・サウナ室
・食堂・喫茶コーナー・売店

温泉　・泉質…ナトリウム、カルシウム、塩化物泉
・効能…リウマチ性疾患、運動器障害・創傷など

アメニティ　浴衣・陣羽織・バスタオル・フェイスタオル・歯ブラシ
※浴室にシャンプー・リンス・ボディソープ・石鹸がございます。



▲姿ガニ



▲長期滞在棟

障害者更生センター

宿泊定員　80名　（和室14室、　洋室2室、　和洋室7室）

施設の位置図

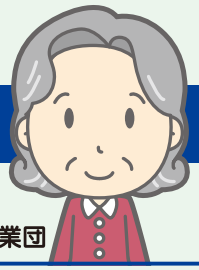


高齢の方、障害のある方が
乗っておられます

法定速度を守っています

お先にどうぞ

（社福）兵庫県社会福祉事業団



3つの約束

守ります

法定速度を守ります



ゆずります

横断歩道では歩行者優先の
運転を行います。



やさしい

ゆとりをもった運転、
やさしい運転を心掛けます



お問い合わせ先

社会福祉法人
兵庫県社会福祉事業団

〒651-2134　神戸市西区曙町1070（総合リハビリテーションセンター内）
TEL（078）929－5655（代表）　FAX（078）929－5688
URL http://www.hwc.or.jp/　E-mail:info@hwc.or.jp

